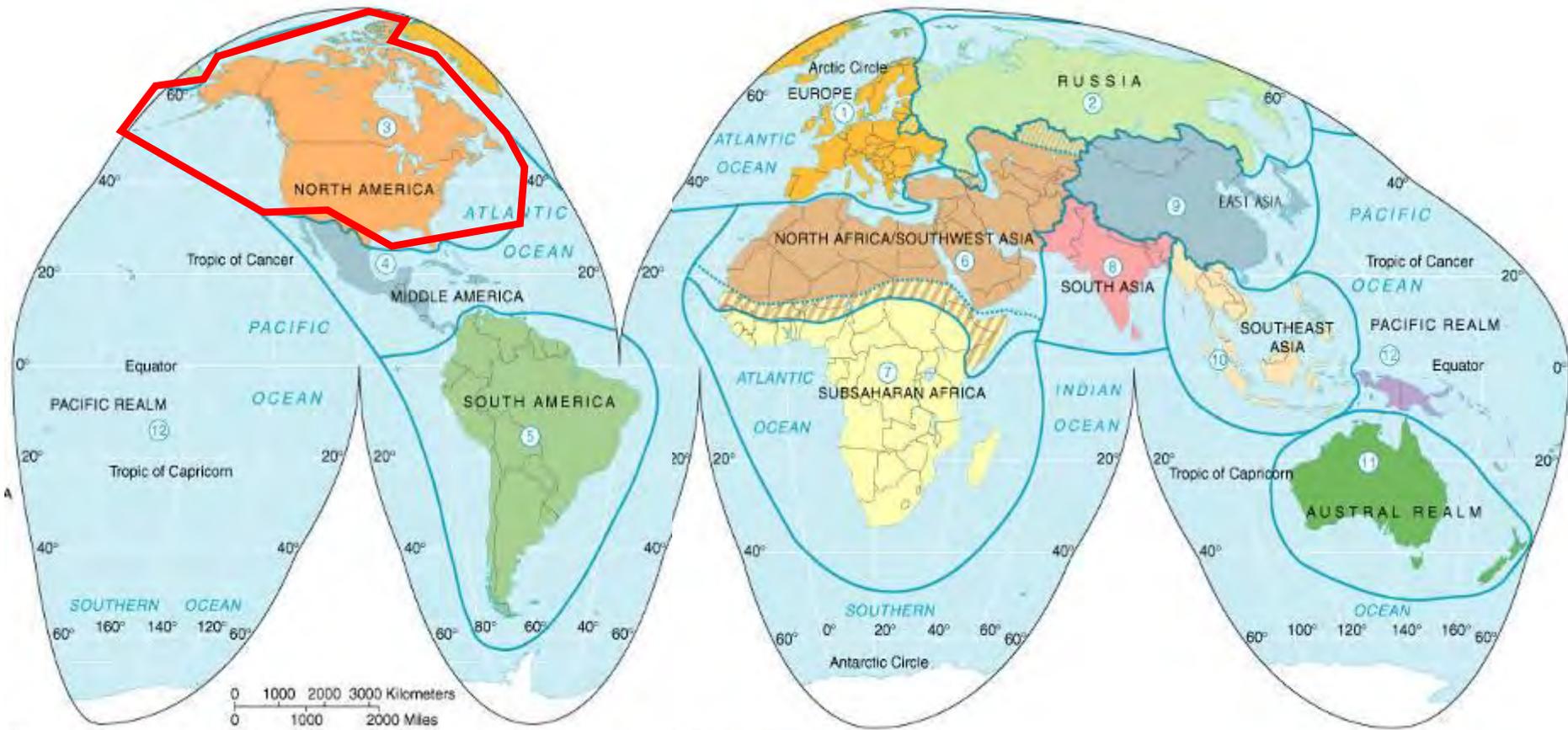


A wide-angle landscape photograph of a desert region, likely Monument Valley. The scene is dominated by large, flat-topped rock formations (mesas and buttes) with vertical, weathered faces. The color palette is warm, with shades of orange, tan, and brown. The sky is a pale, clear blue. The text 'アングロアメリカ' is centered over the middle of the image.

アングロアメリカ



Inc.

Copyright 2000 by John Wiley & Sons, Inc.

1 アングロアメリカの概観

(1)広がり……962万^キ平方^トル(世界第[3]位)のアメリカを中心にした広大な地域

(2)構成国… アメリカ合衆国 とカナダ の2国



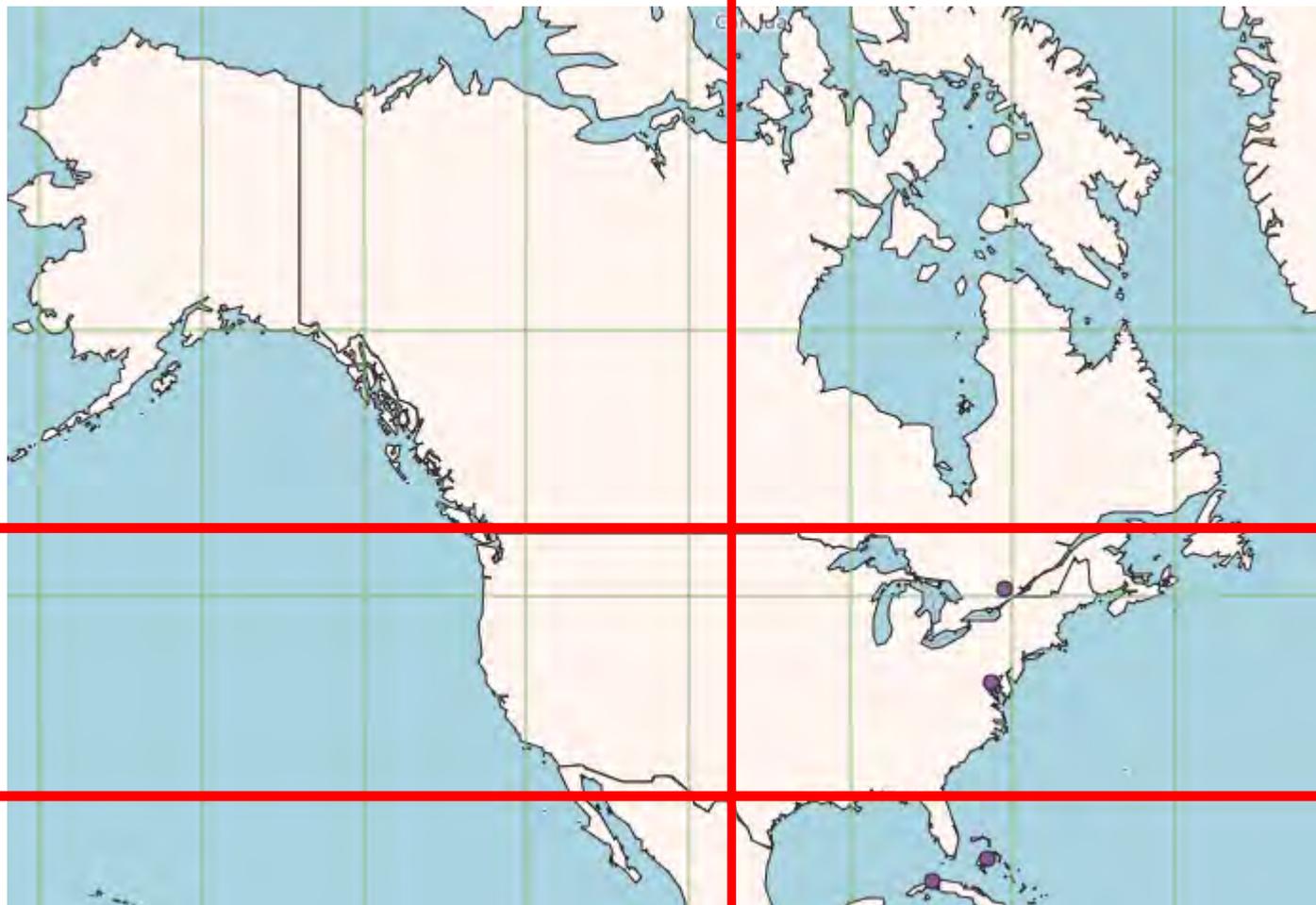
An aerial photograph of the New York City skyline, featuring a dense cluster of skyscrapers. The Empire State Building is the most prominent structure in the center. The city extends to the water's edge, with a hazy horizon in the background. The text 'アメリカ合衆国' is overlaid in the center of the image.

アメリカ合衆国

2 アメリカ合衆国

(1) 中心となる本土の広がり

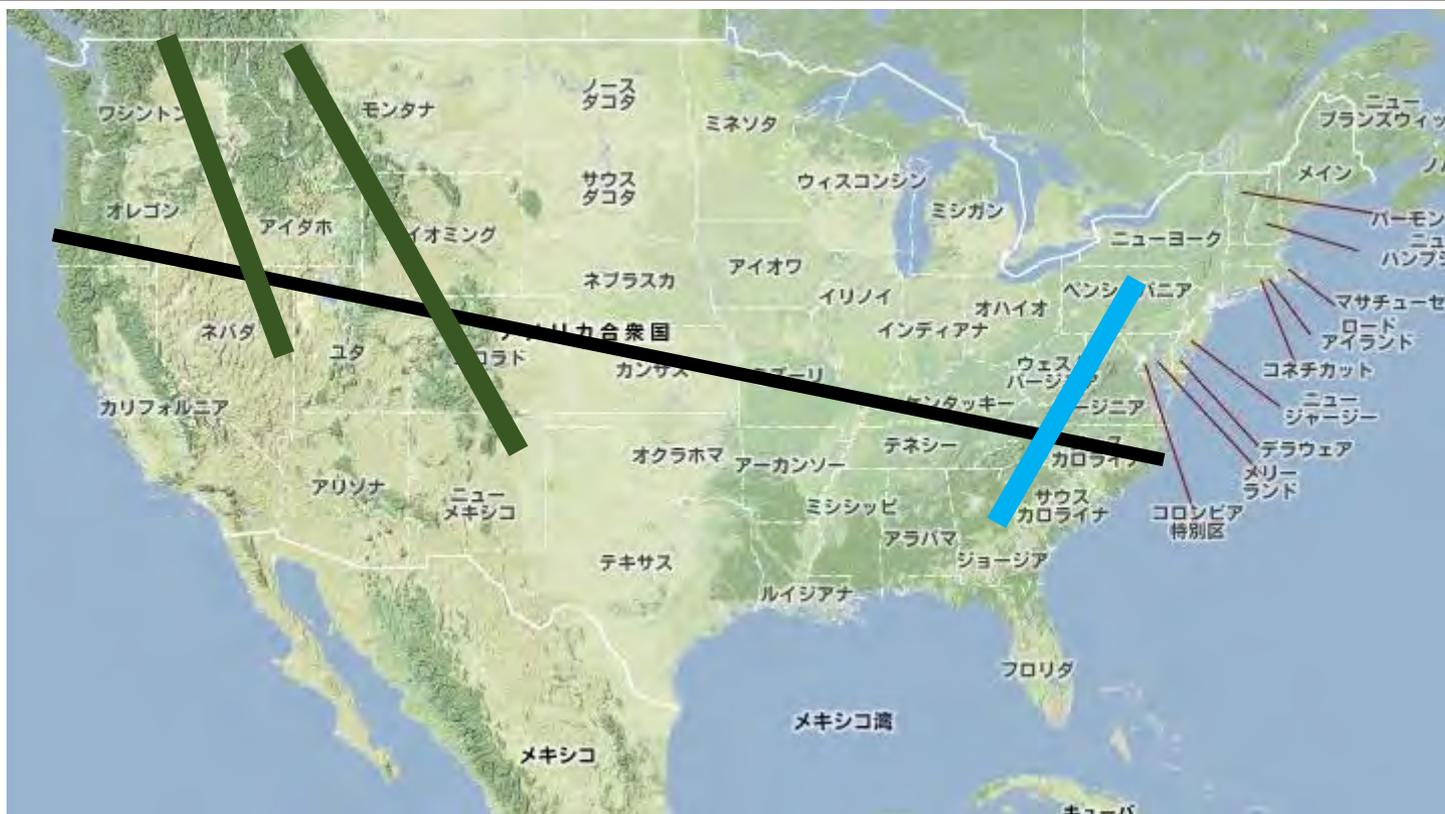
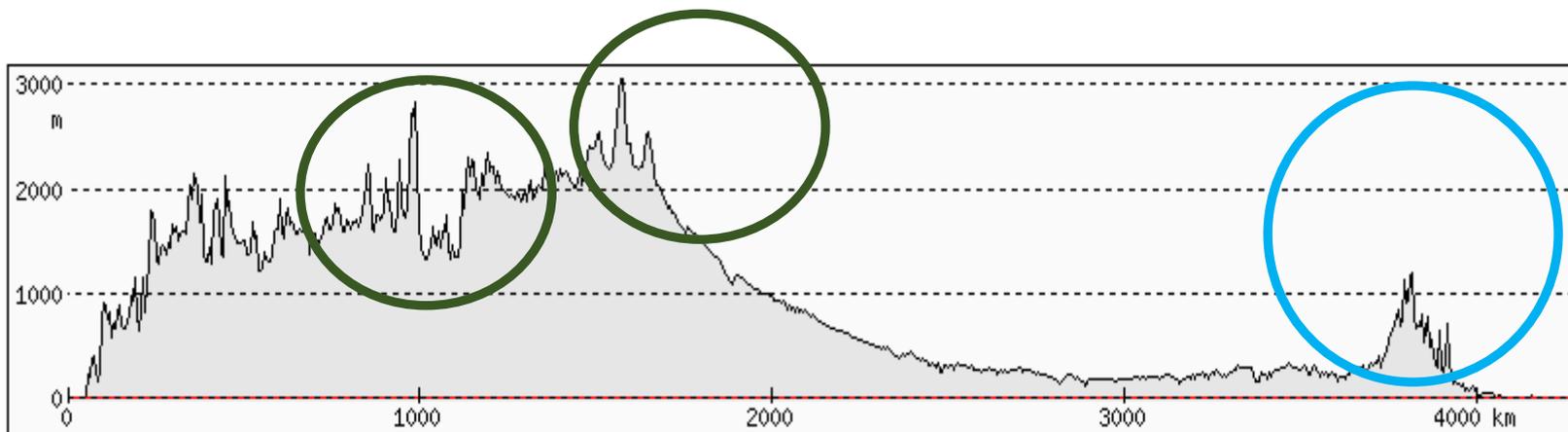
西経100度



北緯49度

北緯30度

(2) 大まかな地形の特徴・・・西高東低



(3) 3つの大地形が作りだす地域性

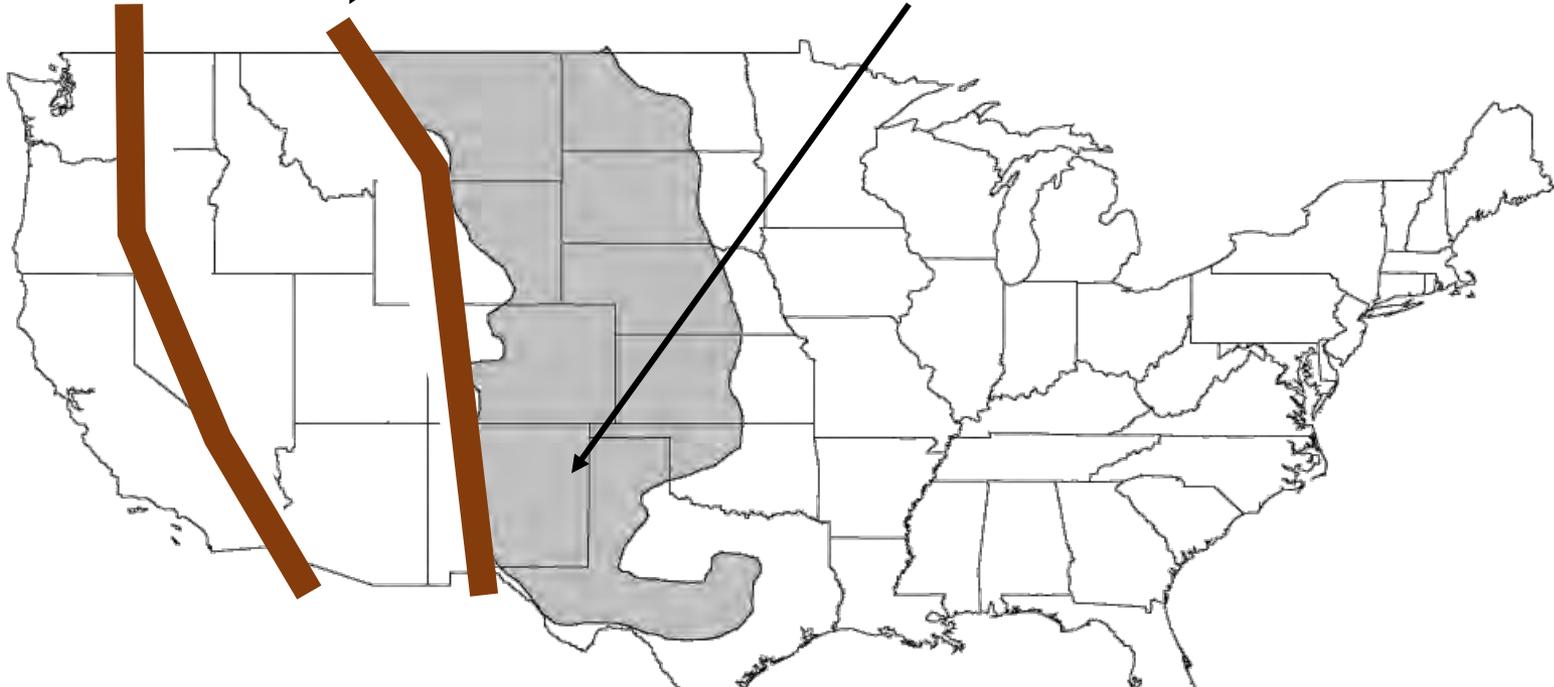
① 新期造山帯... ロッキー 山脈(環太平洋造山帯)や
海岸 山脈

→ ロッキーの東の山麓を グレートプレーンズ と呼ぶ。

海岸山脈

ロッキー山脈

グレートプレーンズ



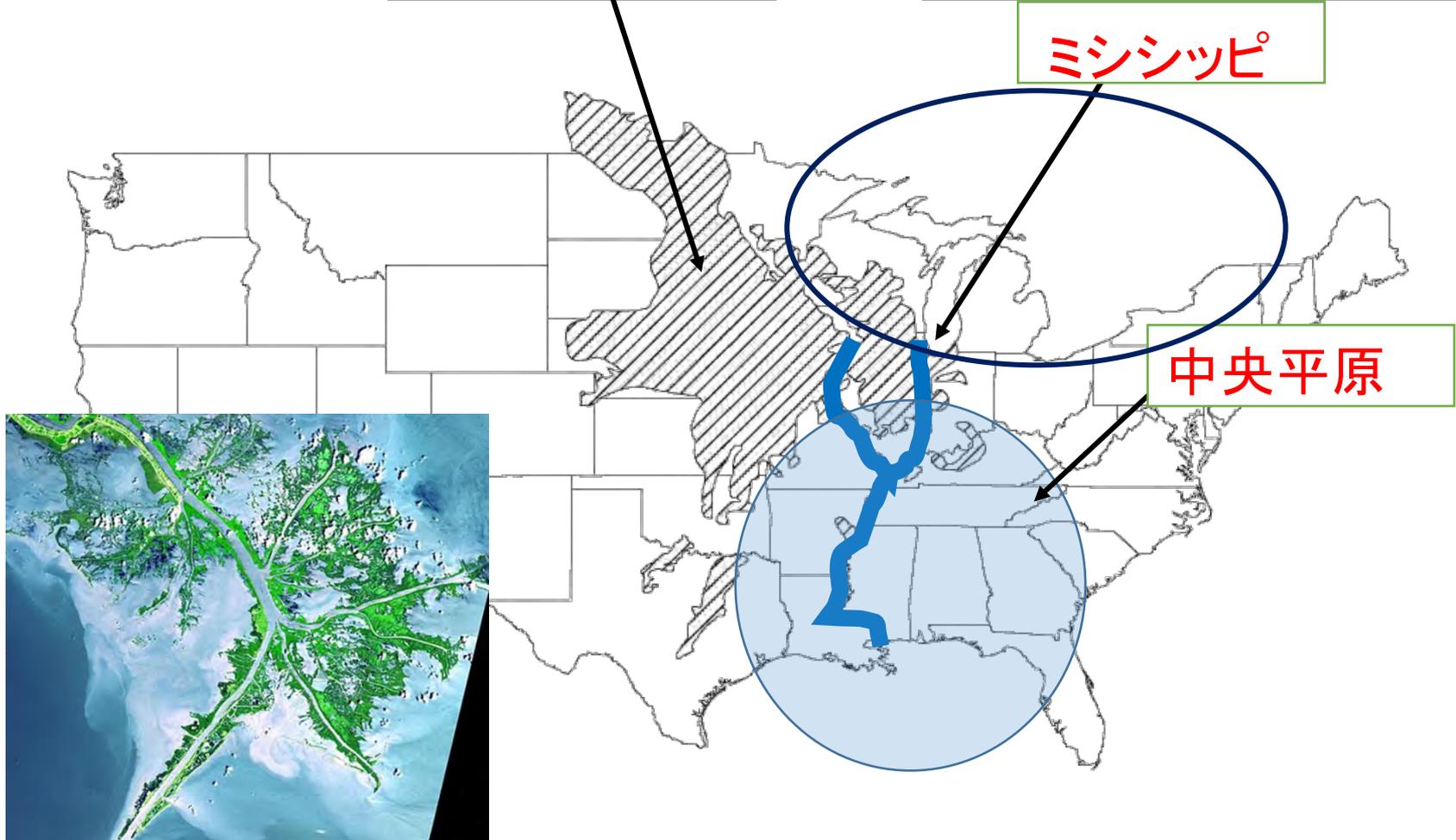
②安定陸塊

■北部… 五大湖

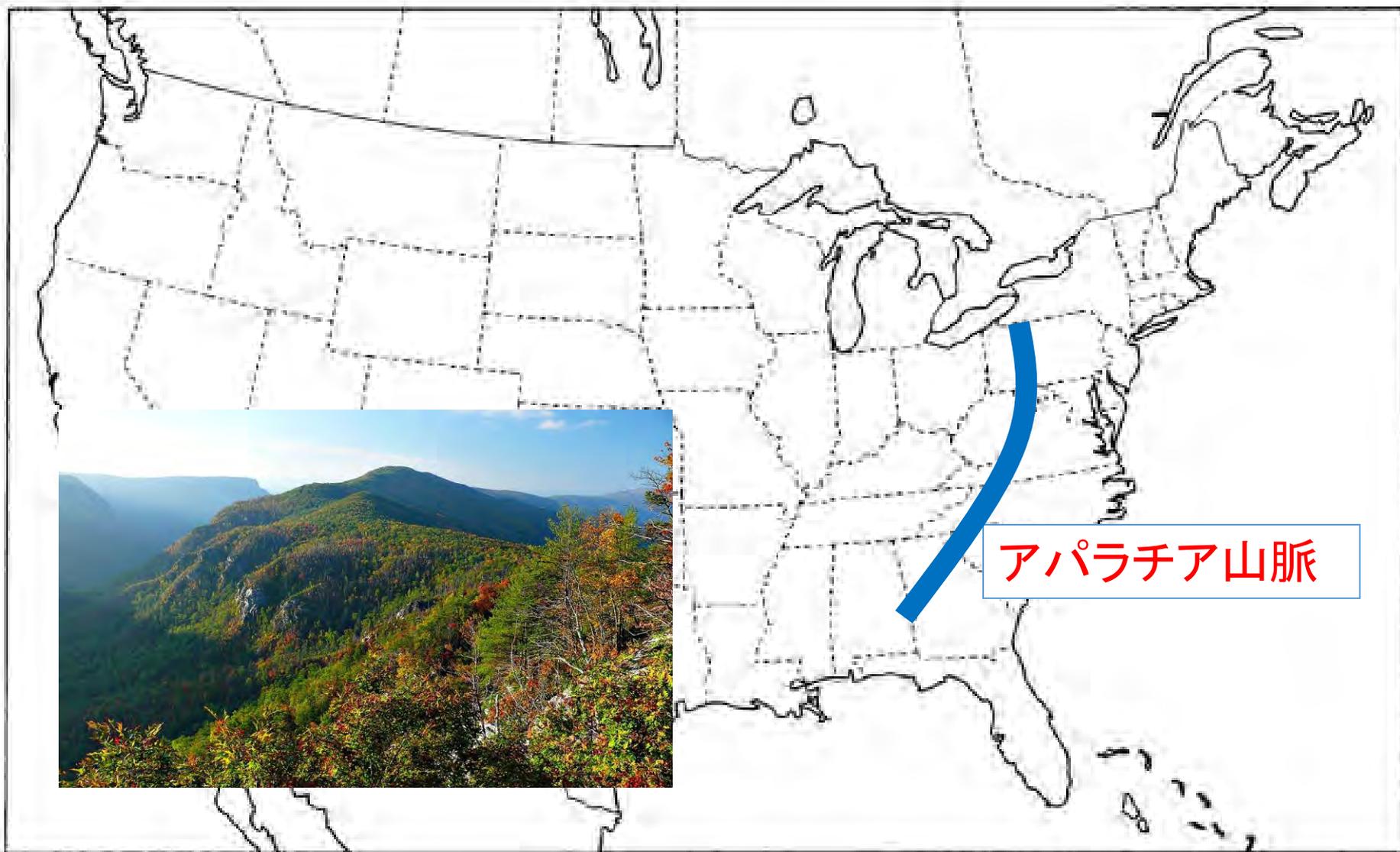
(氷河時代に氷床が地域を覆ったところにできた 氷河湖)

■中央部… プレーリー は、小麦・とうもろこし地帯

■南部… 河口に 鳥趾状 三角州をもつ ミシシッピ 川が流れる

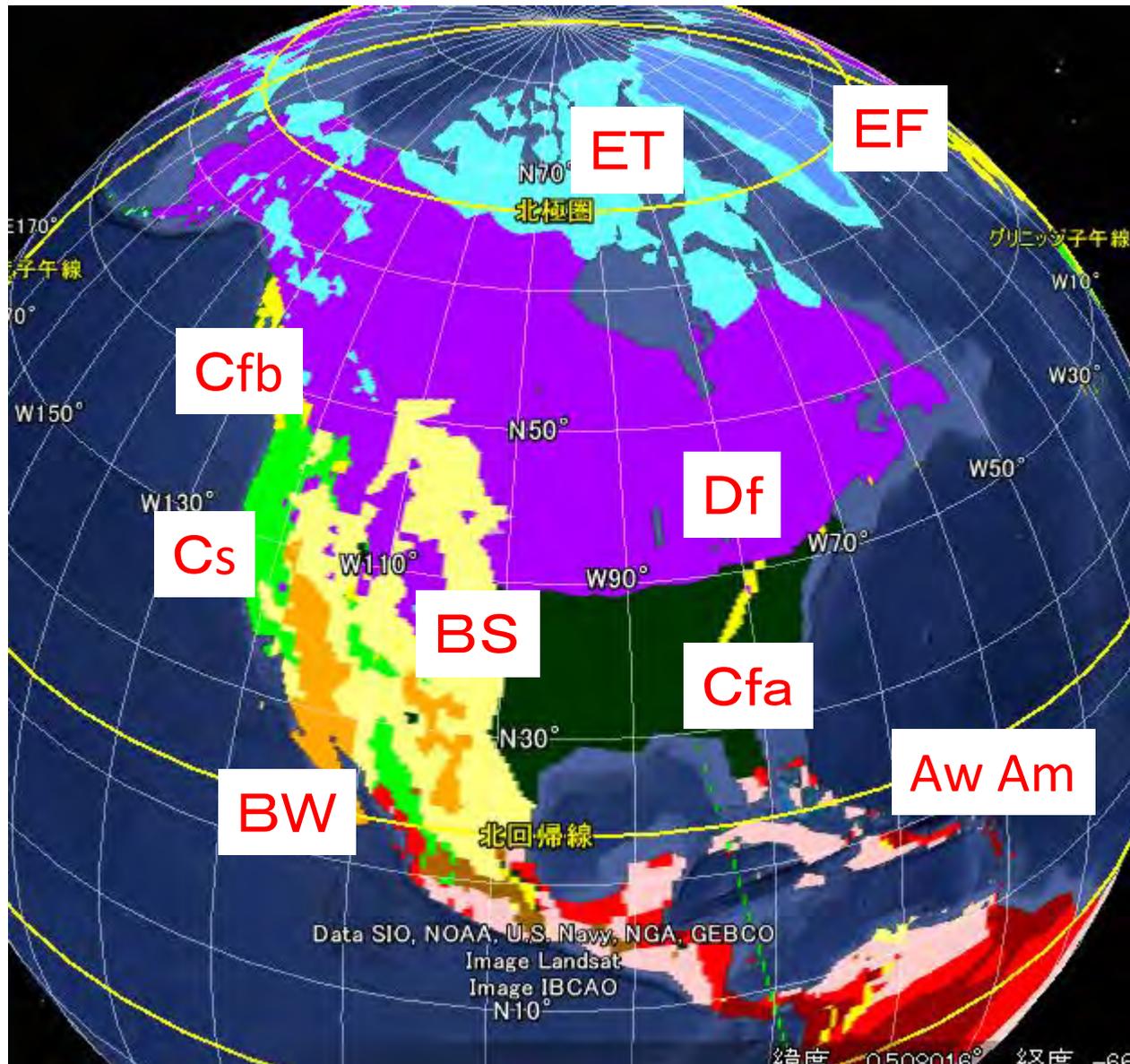


③ 古期造山帯・・・アパラチア 山脈

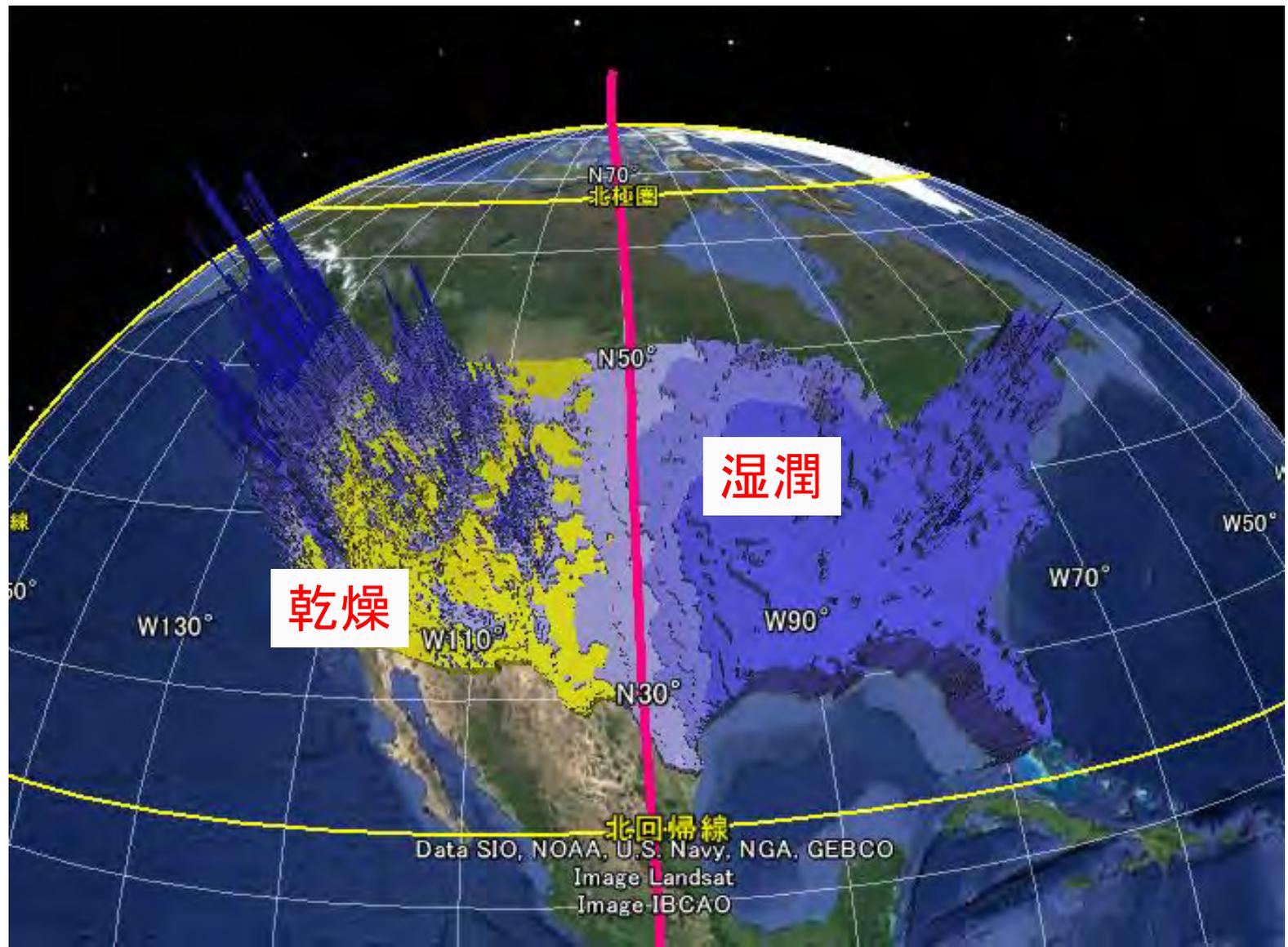


(4)気候の特色

① A ~ E まだが分布し多様性に富む

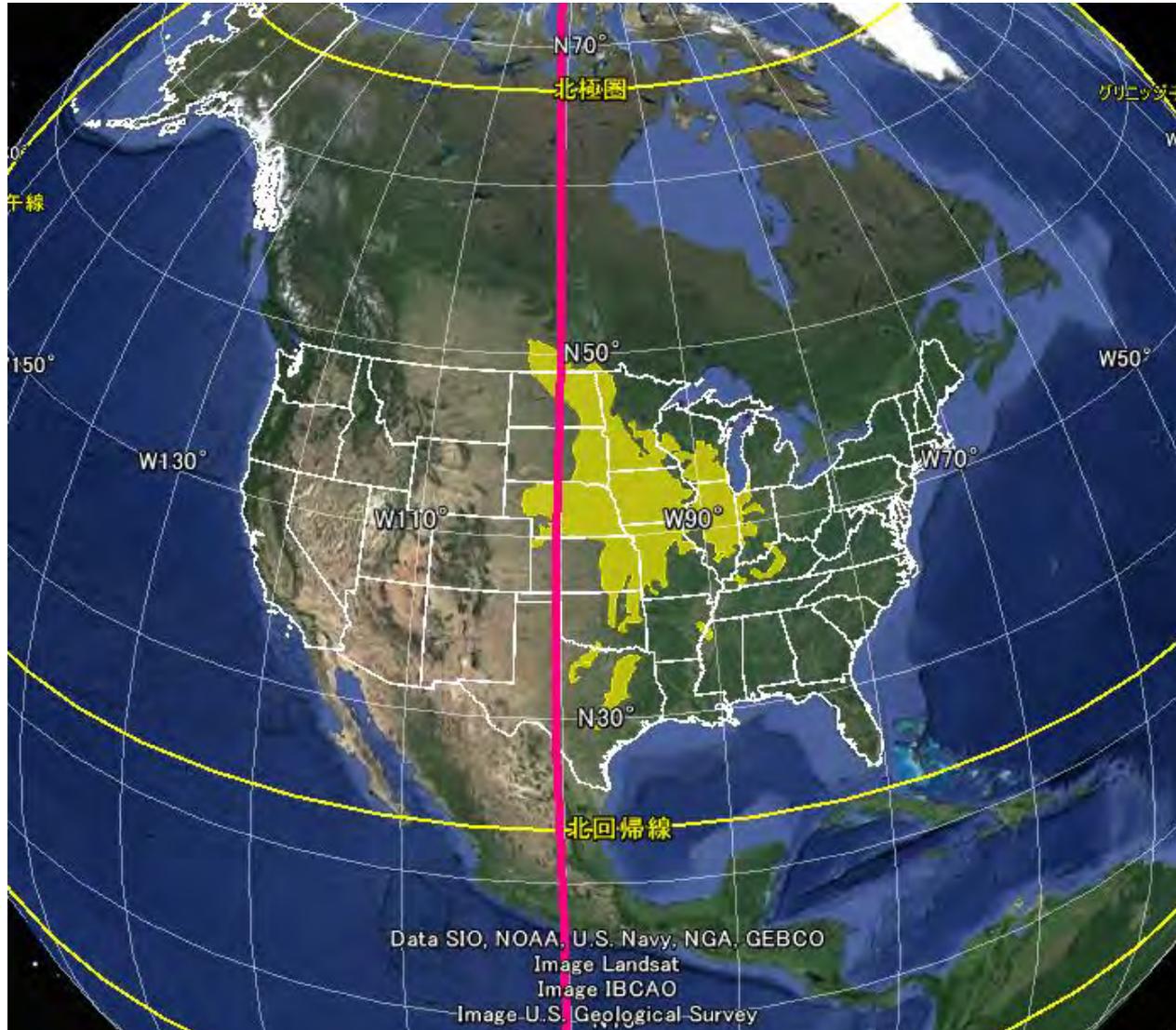


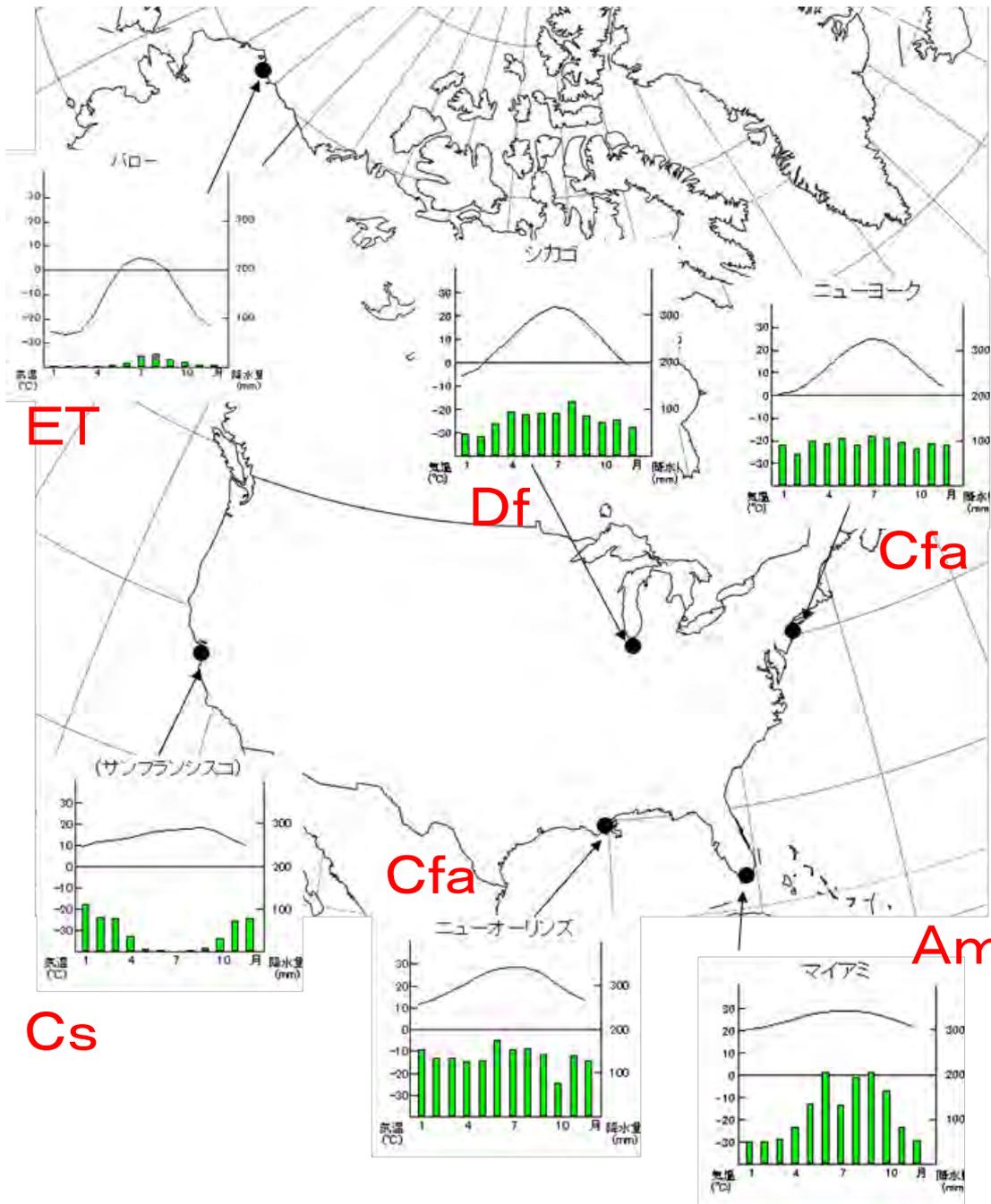
②西経 100 度線(年降水量約 500 mm線と一致)で湿潤地域と乾燥地域に二分される



③ただし西経100度線前後は半乾燥地域(乾燥と湿潤の中間地域)

→プレーリー とよばれる植生or土壌(穀物栽培に適した黒色土)





(5) 人口と主な都市

①人口

・約 3.3 億人(2018年)

②首都

・ワシントンD. C. (ワシントンコロンビア特別区 人口約70万人)

放射直交路型

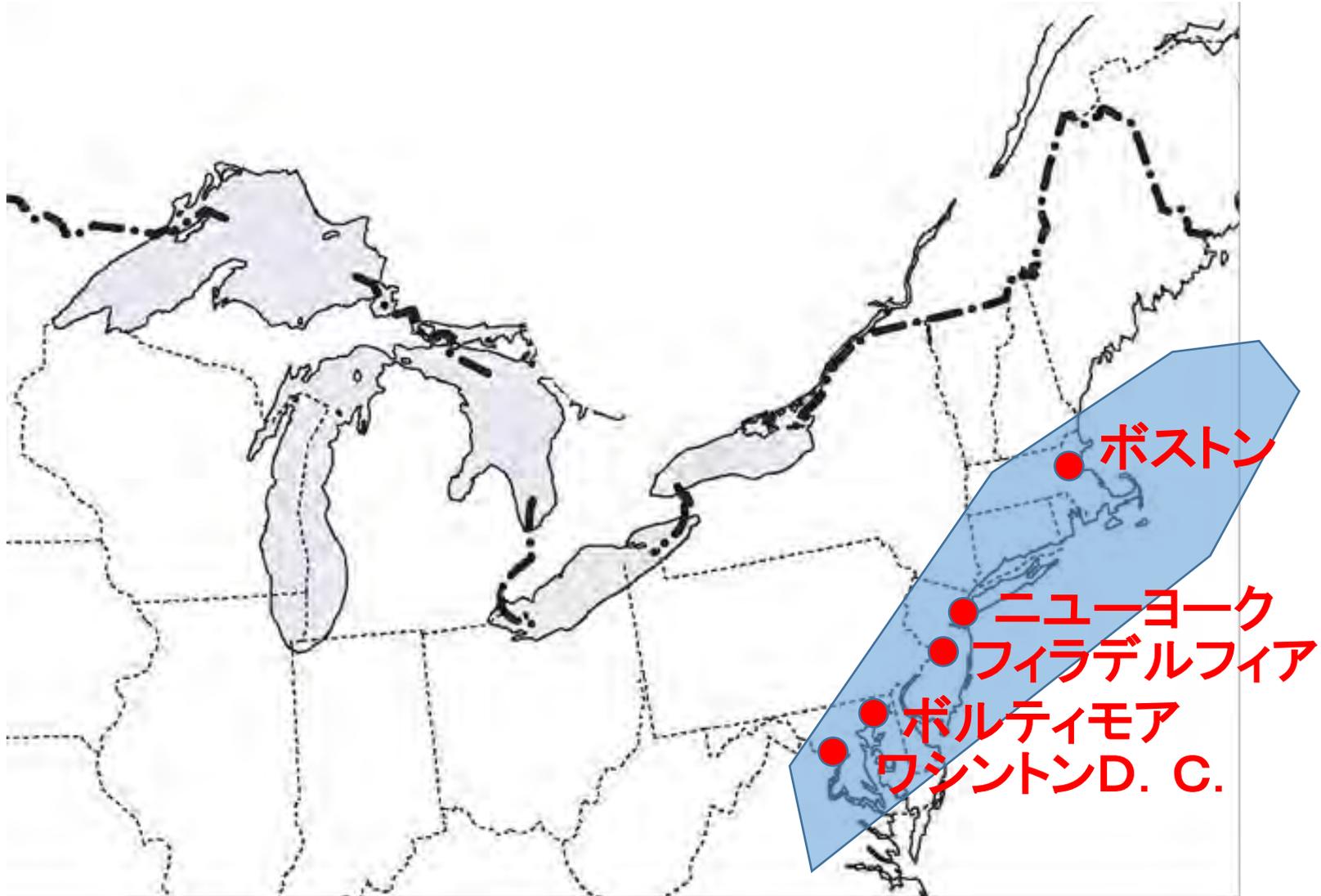


③最大人口都市

- ・ ニューヨーク (国際連合の本部 人口約840万人)



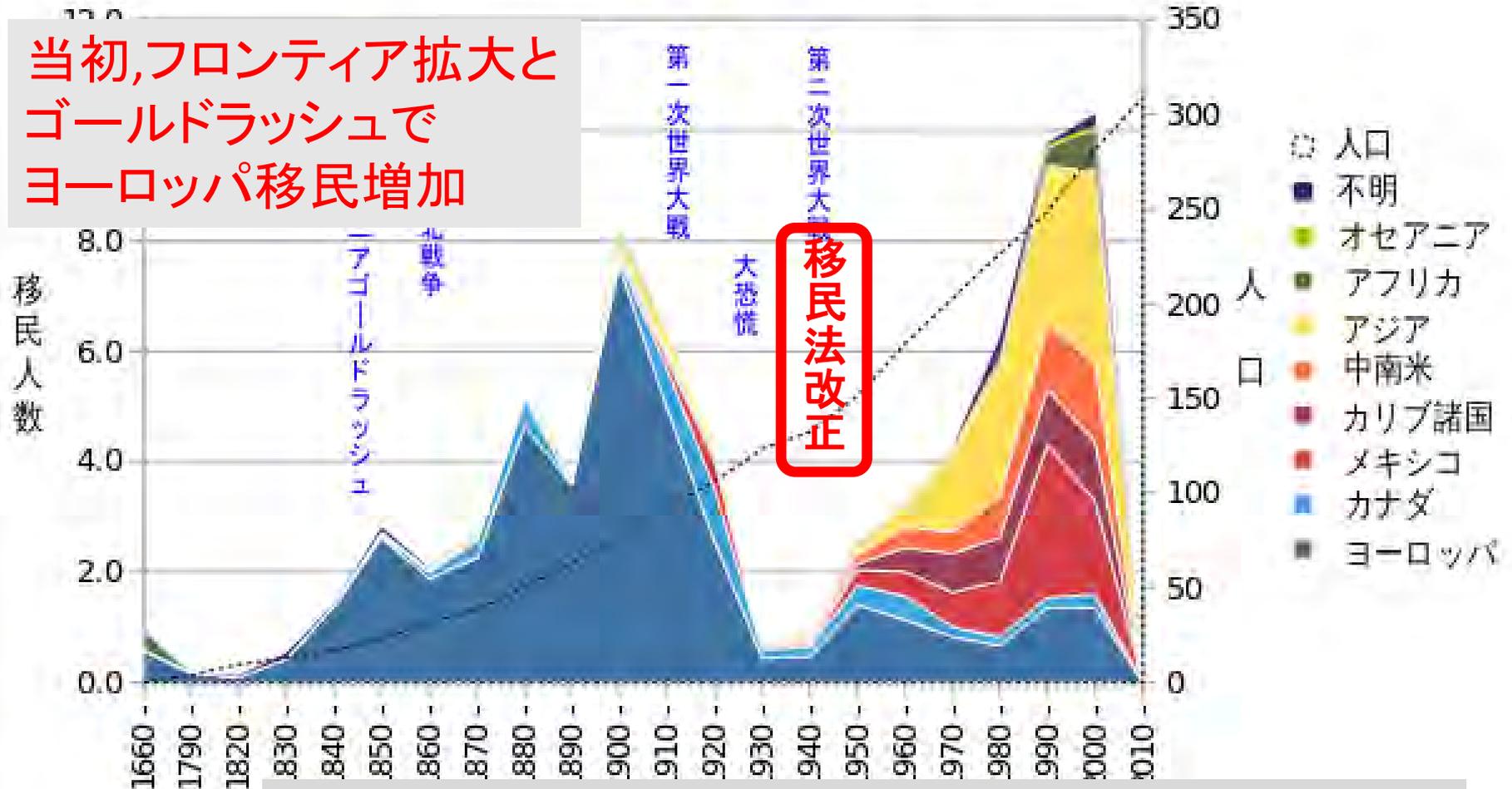
→ニューヨークを中心に巨大な都市域(**メガロポリス**)が形成



(6) アメリカ合衆国の人種・民族構成

①移民の歴史

1660年からの米国への移民 (百万人)

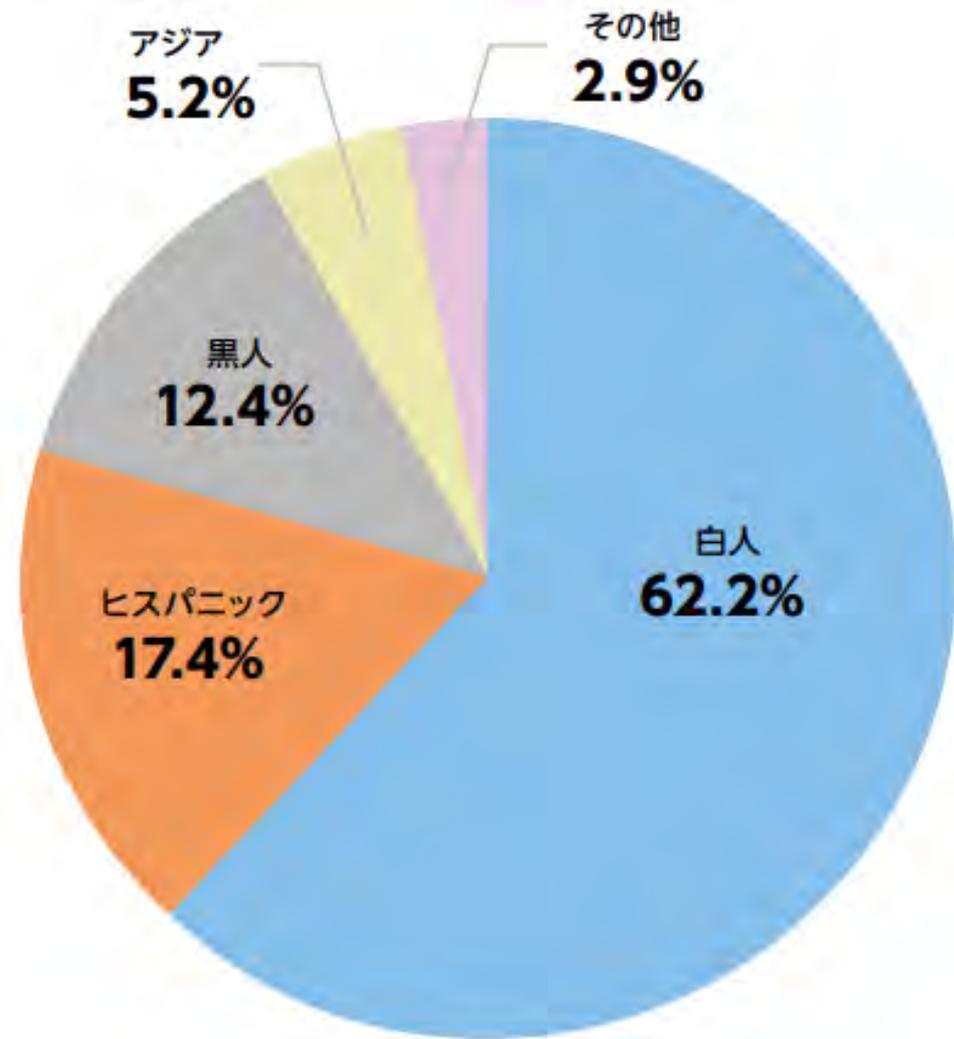


1950年～移民法改正でアジア系・ラテン系移民増加

② 民族・人種構成・・・人種のサラダボウル

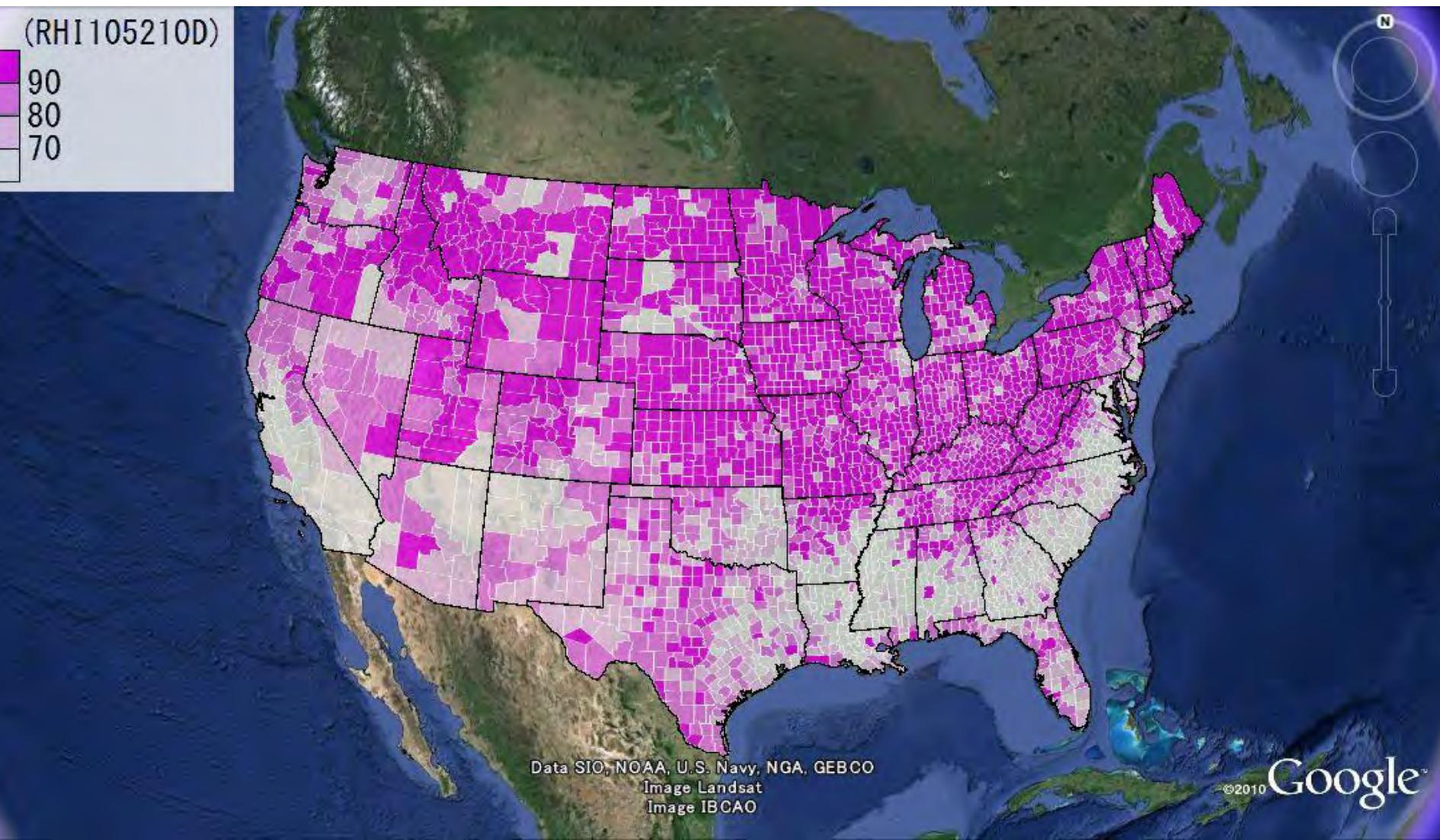
「混ざり合わないけれど共存している」並立共存の状態

- 白人 (ヨーロッパ系)
- **ヒスパニック**
- **黒人** (アフリカ系)
- アジア系
- ネイティブアメリカン

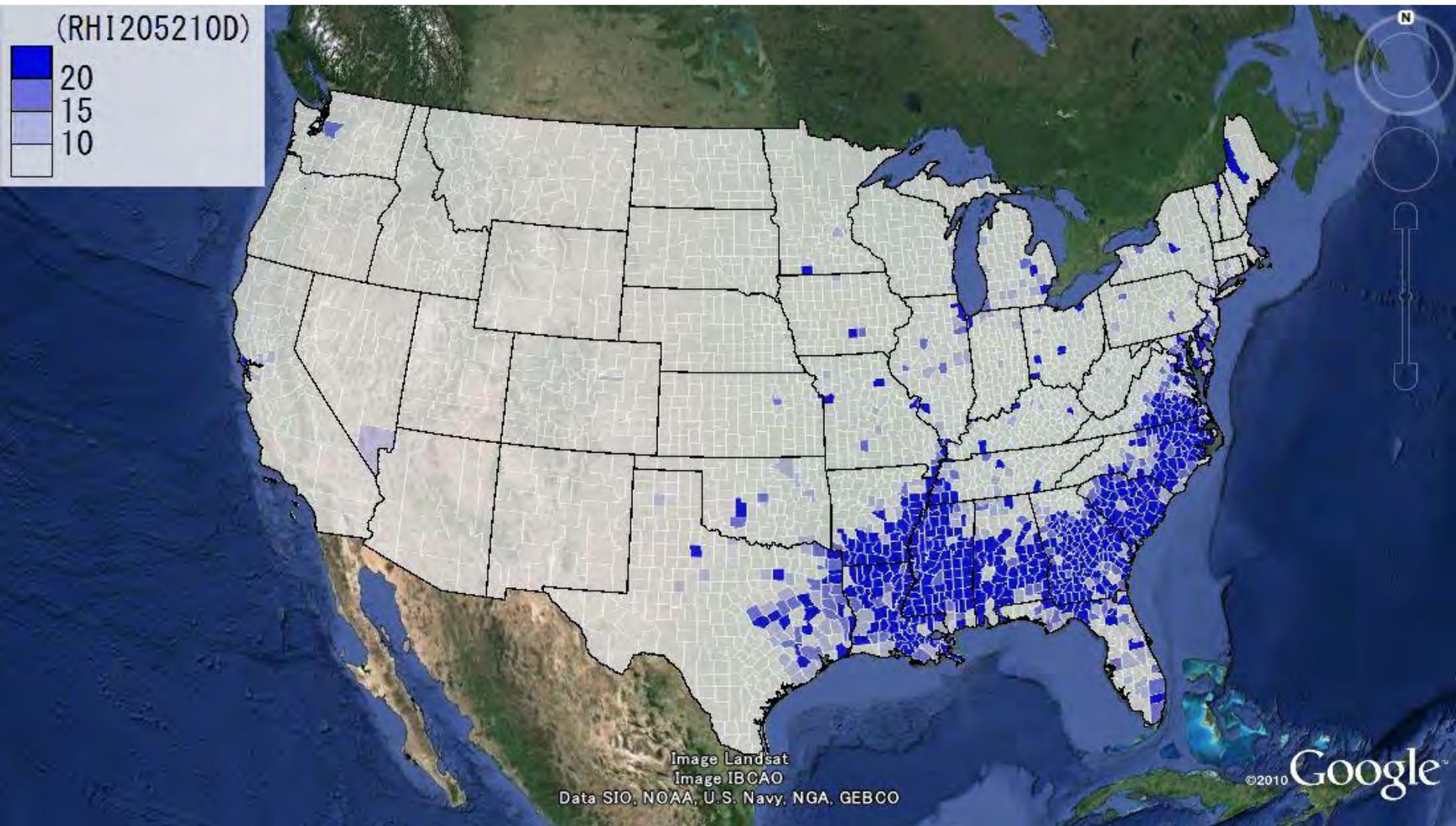


③民族・人種の分布

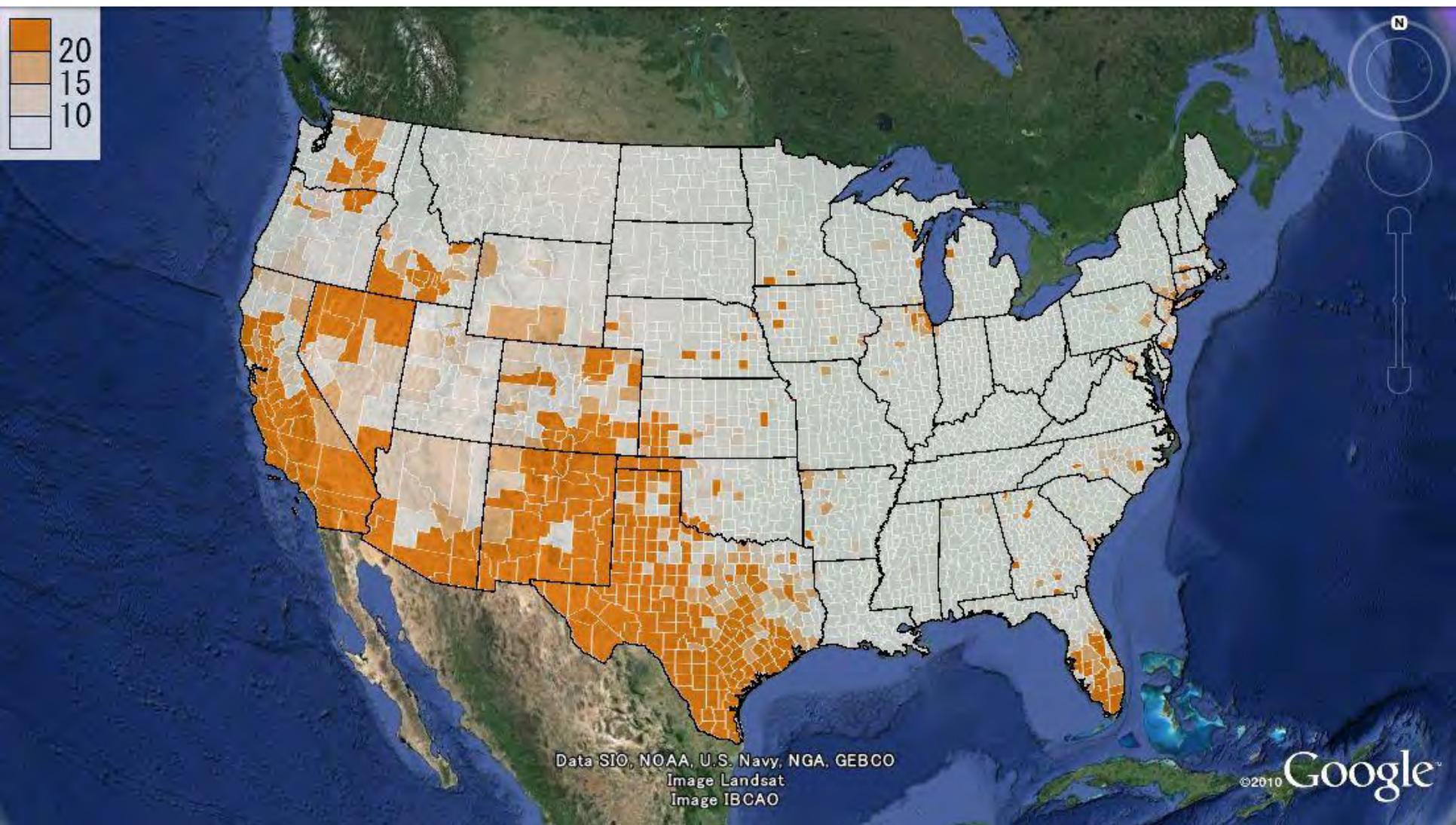
■北部・・・北西ヨーロッパ系の 白人 (初期の入植が多い)



■南部…アフリカ系の **黒人** (プランテーション労働力)
→北部工業地帯へ

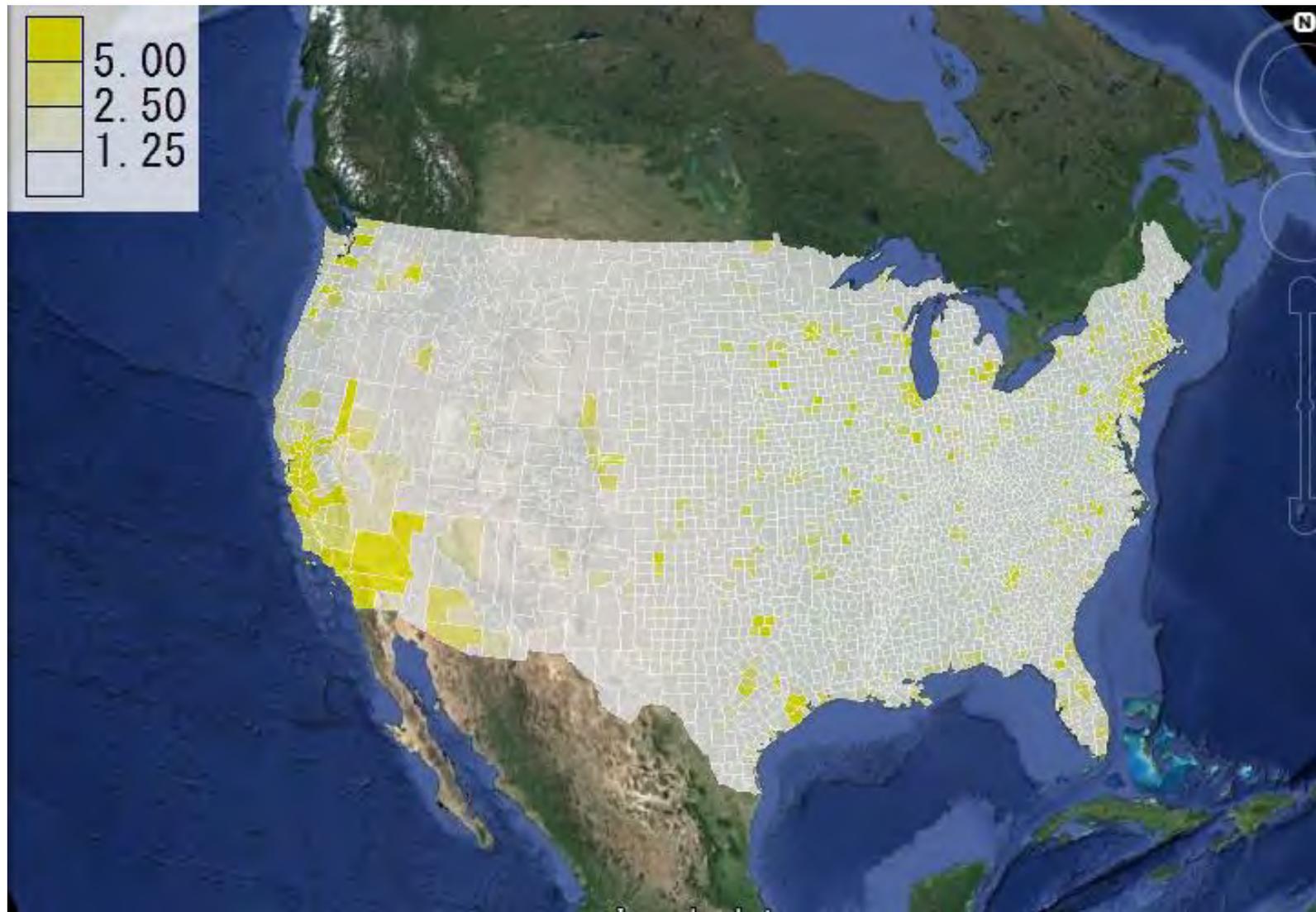


■ 南西部…[**スペイン**]系ヒスパニック
(カリフォルニア州・テキサス州)



■太平洋岸…フィリピン・インド・韓国・中国系(大都市に集中)

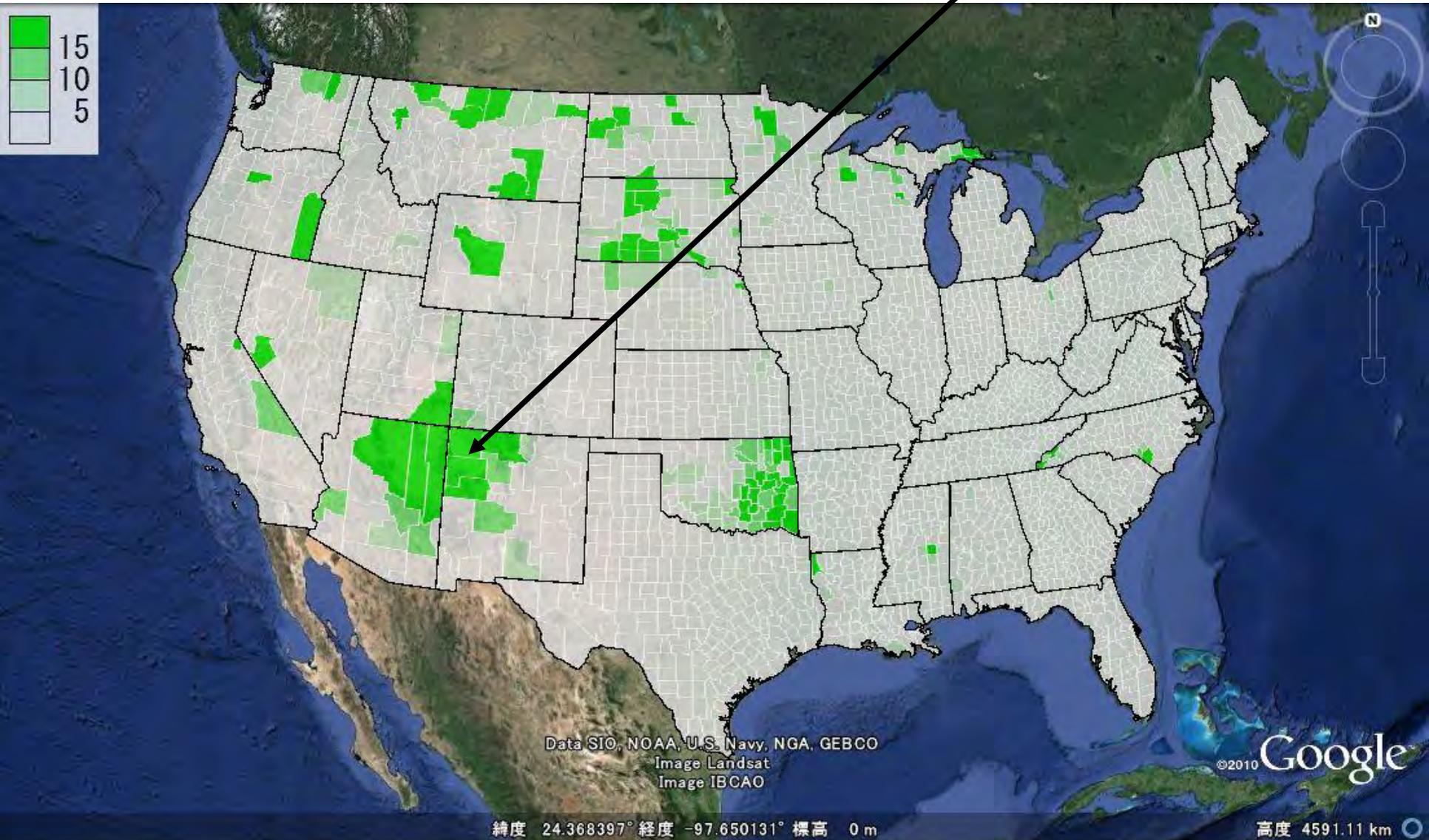
※住み分けがなされている。(チャイナタウン・コリアンタウン・
リトル東京など) **アジア系**



■西部の山間地・砂漠地域

ネイティブアメリカン(アメリカ先住民)

居留地



(7) アメリカ合衆国の農業

1) 合理的な農業経営

① 適地適作

: 気候・地形などの自然条件、市場までの距離などの社会条件に合った形の農業地域を形成。

➡ 近年は、単一栽培(モノカルチャー)の弊害からぬけるため多角化の傾向

② 労働 生産性の(極めて)高い農業

: 機械化を取り入れた大規模経営のため。

土地生産性は低い

③ 世界の 食料倉庫 とよばれ、世界最大の農業国、穀物輸出国の側面を持つ。

➡ とうもろこし、大豆、綿花、小麦の輸出は世界第1位

④ アグリビジネス (農業関連産業)による経済支配

└ 穀物メジャー

: 穀物価格を左右、穀物の流通・加工・食肉産業に進出



STARBUCKS.CO



The Coca-Cola Company



Cargill



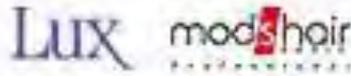
Kellogg's.com™



Fresh World



BRAND SITES



プロ-アクティブ





2) 農業地域

春小麦地帯

冬小麦地帯

とうもろこし地帯

肉牛飼育

酪農

園芸農業

綿花栽培

熱帯性作物栽培

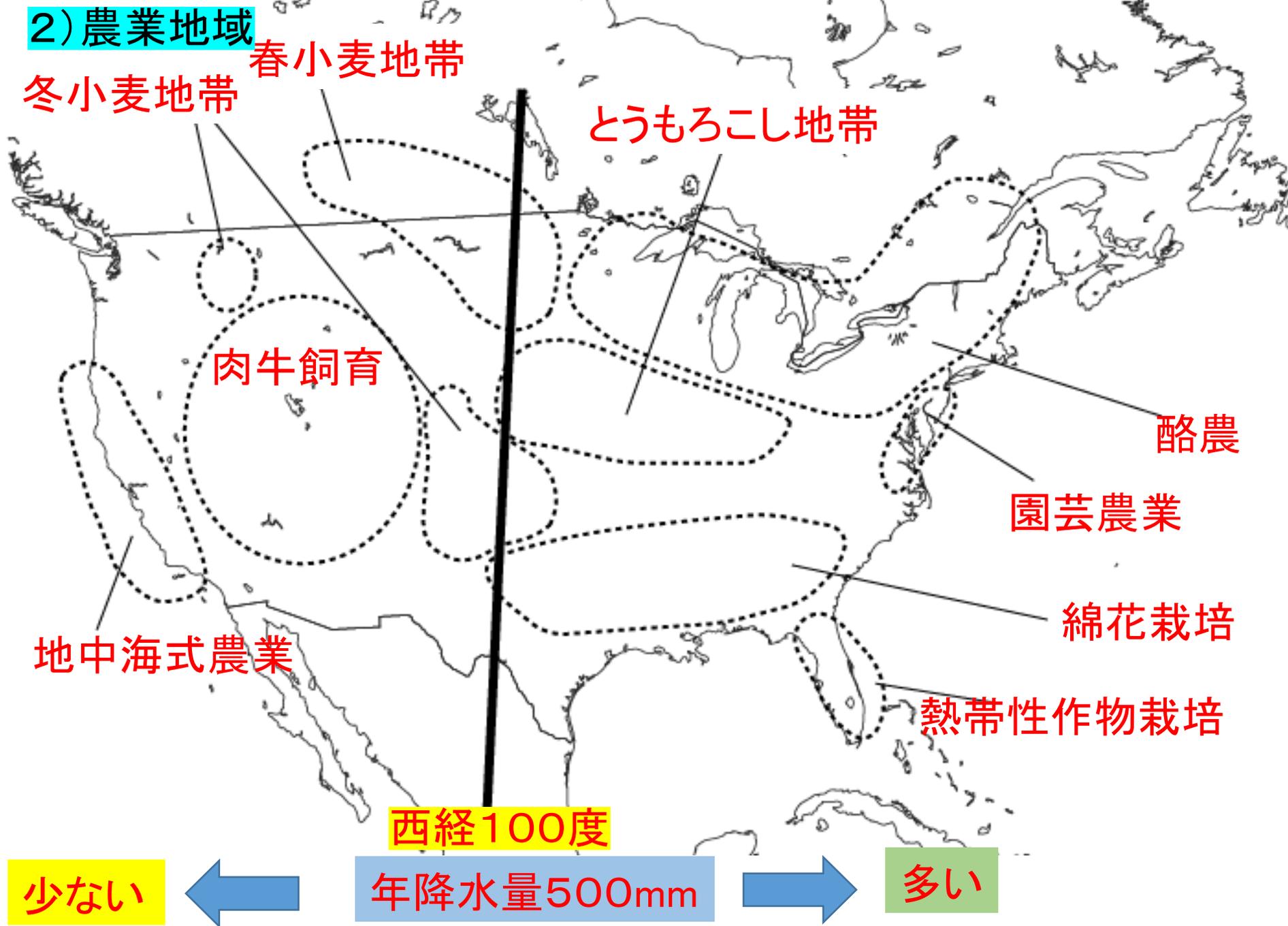
地中海式農業

西経100度

少ない

年降水量500mm

多い



①東の農業地帯のおもなもの

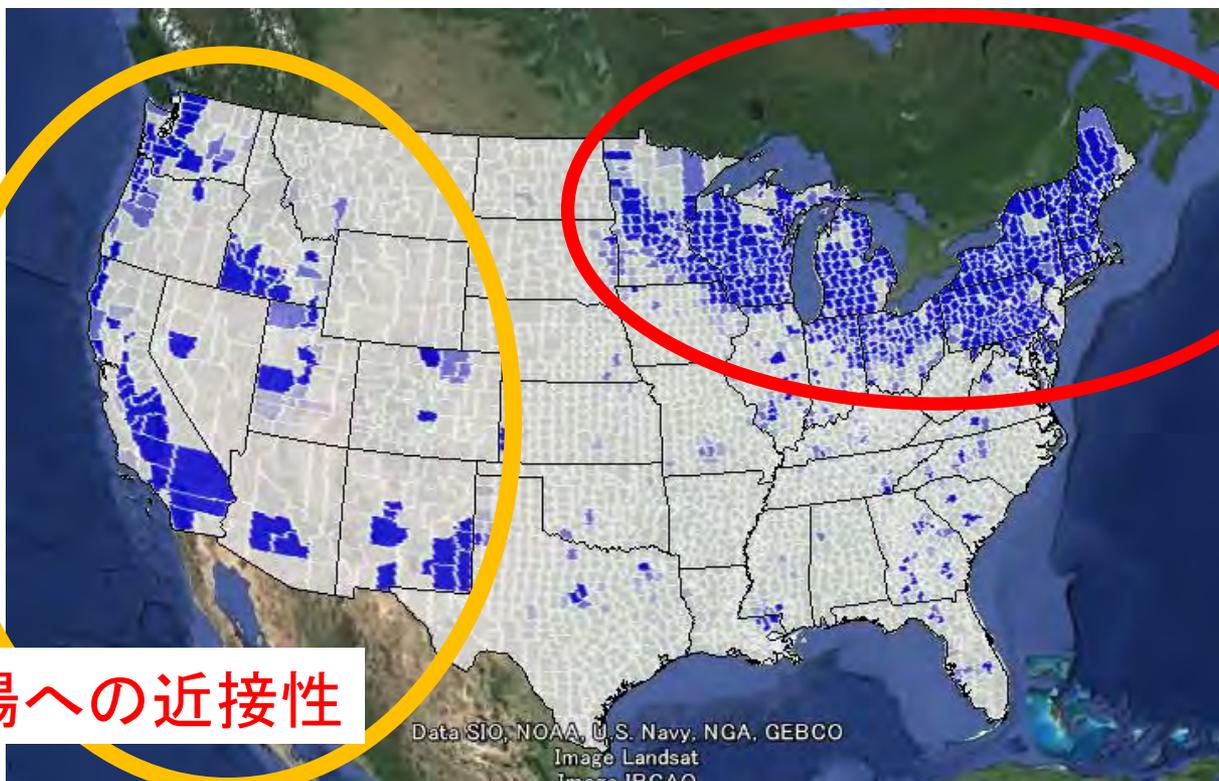
①酪農地帯

立地

- ・冷涼湿潤な気候、氷食を受けたやせ地で **牧草** 栽培に適し、
巨大な **消費市場** に隣接。

近年の傾向

- ・国内西部に酪農の拠点(**メガファーム**)が出現

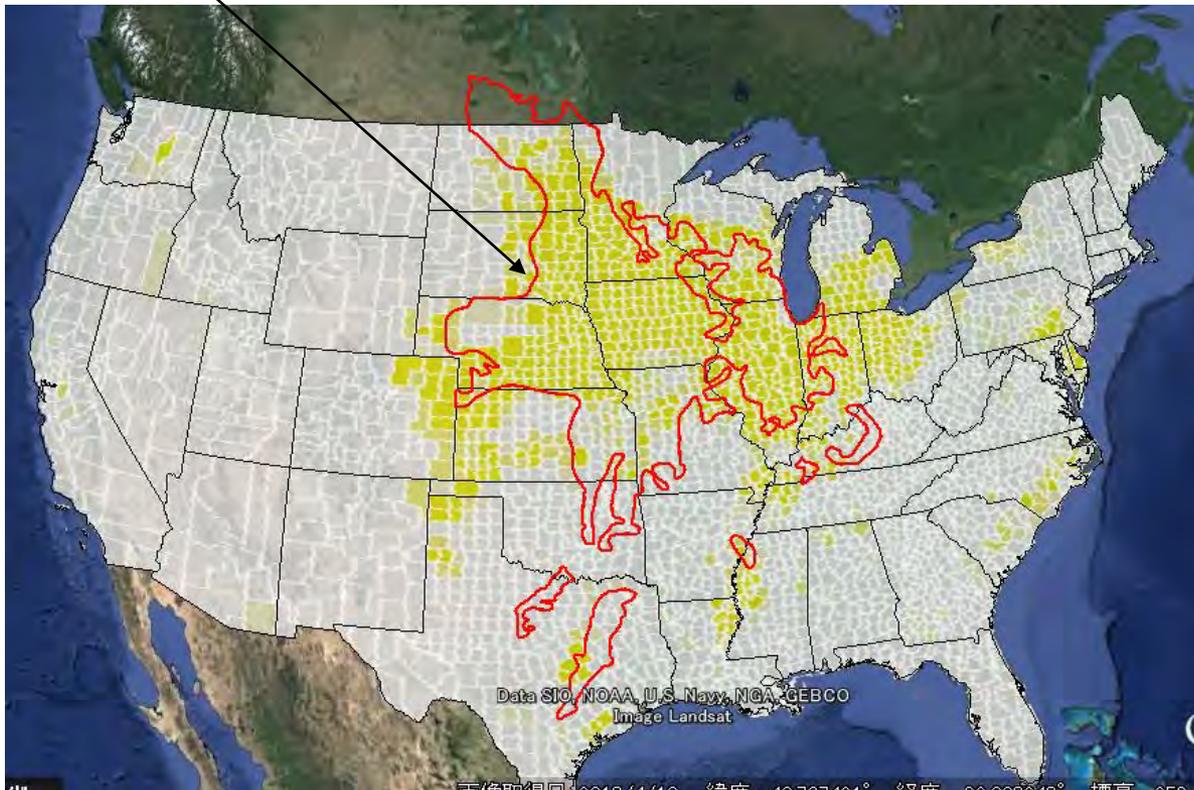


※アジア市場への近接性

②とうもろこし地帯(コーンベルト)

立地

- ・ プレーリー土 の分布に恵まれる(赤線の内側)。

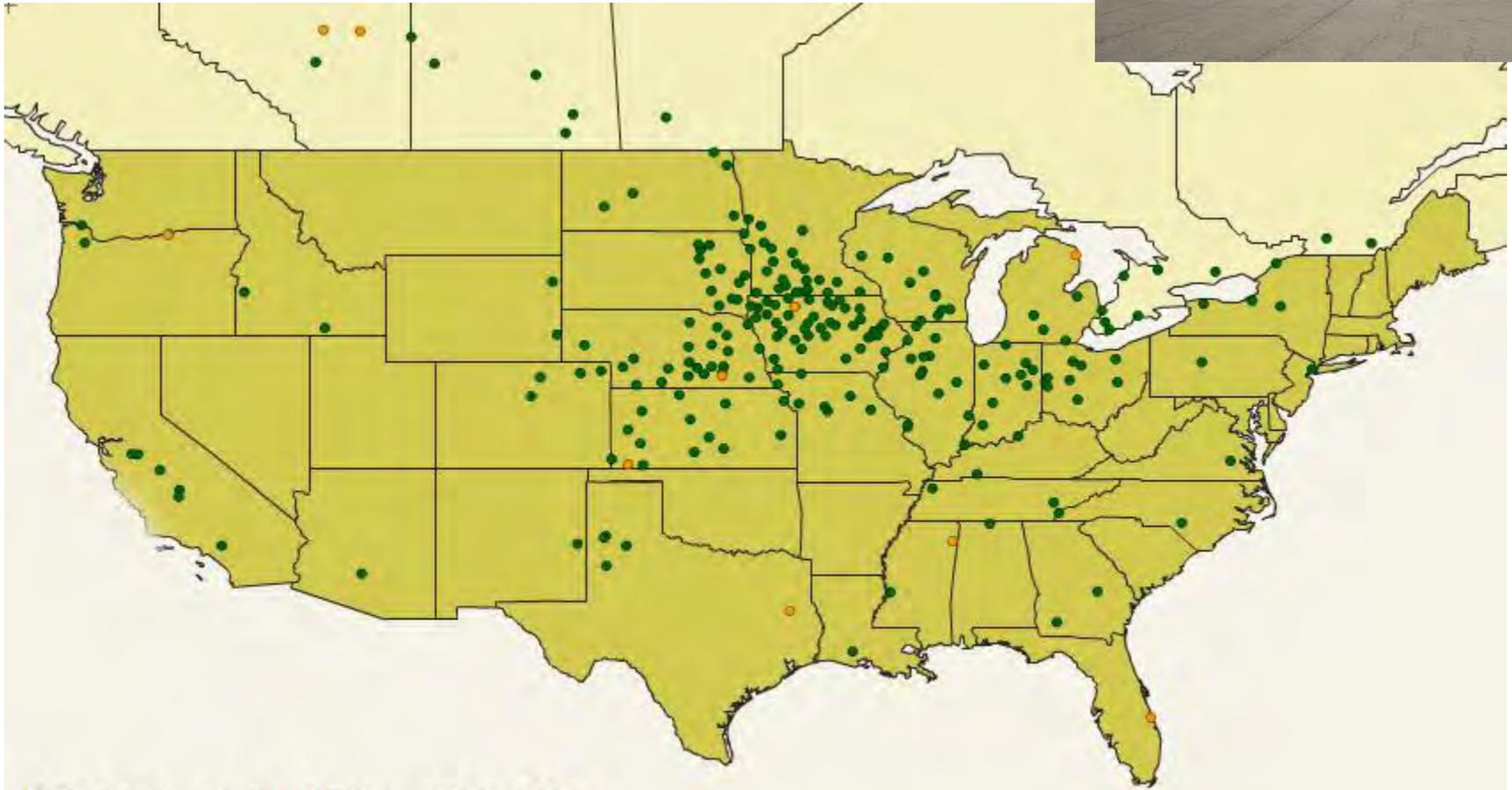


特色

- ・大豆との輪作, 豚 や肉牛の肥育との組み合せた(混合農業)

近年の傾向

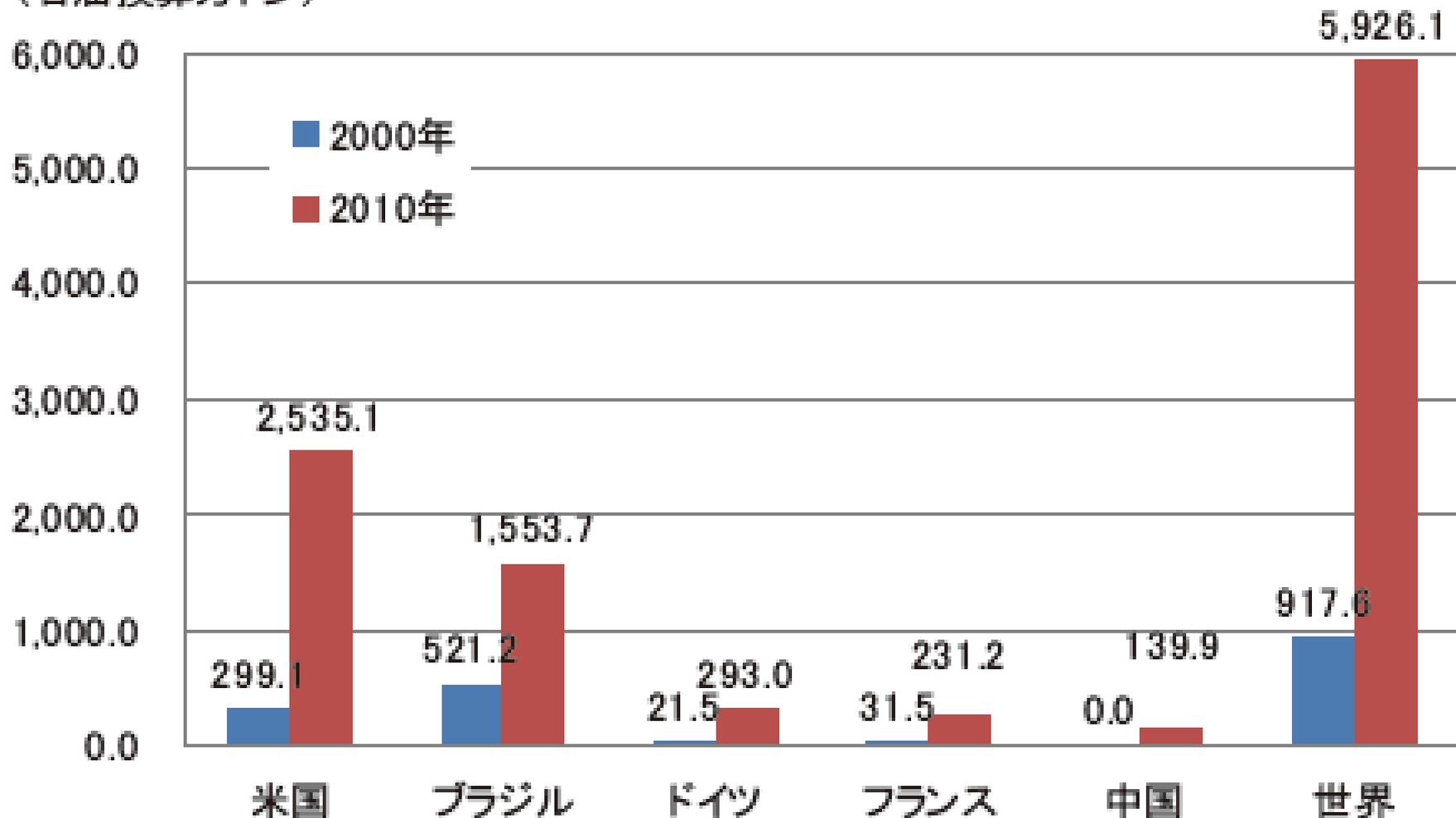
- ・地域内に バイオエタノール工場 が発達



U.S. & Canada Fuel Ethanol Plant Map

図1 世界のバイオ燃料生産量

(石油換算万トン)



資料：BP [Statistical Review of World Energy 2011]

③ 綿花地帯(**コットンベルト**)

立地

- ・ 生育期が**高温多湿** (無霜期間200日以上)、収穫期は乾燥で綿花栽培に適している。

歴史

- ・ かつて **黒人奴隷** を使用していたが、現在では大型の **コットンピッカー** を活用した大規模農業が発達



②西経100度線付近の2つの小麦地帯

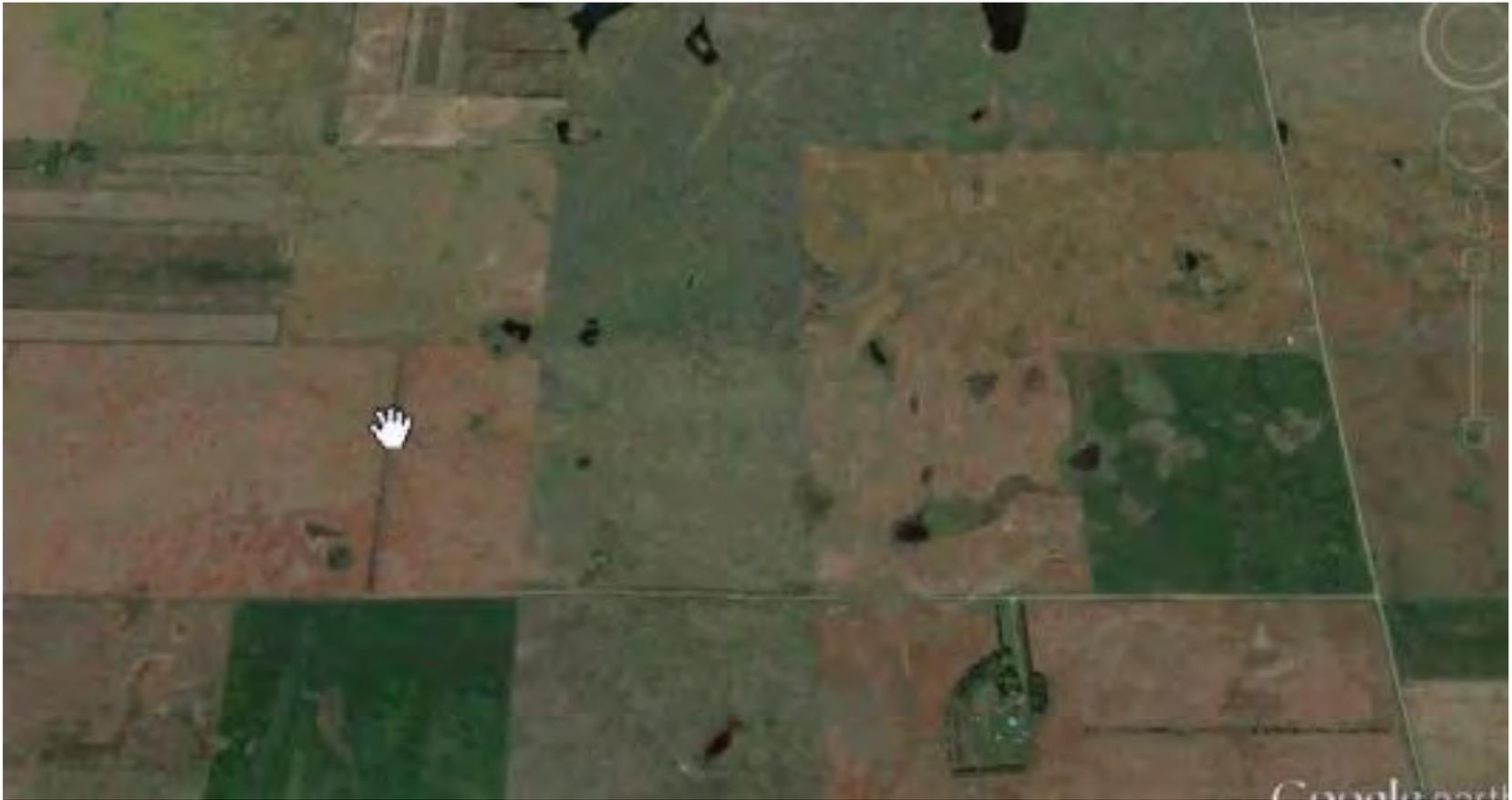
① 冬小麦地帯 ……秋に播種し、初夏に収穫

- ・中心… カンザス 州(集散地 カンザスシティー)
- ・特色… **センターピボット**での栽培



② 春小麦地帯 ……春に播種し、秋に収穫する

- ・中心… ノースダコタ 州～カナダ(ミネアポリス)
- ・特色… 乾燥農法 での栽培(夏の降雨が利用できる)



③西経100度線以西の主な農業地帯

①肉牛の飼育地帯

- ・中心・・・ グレートプレーンズ .
- ・歴史・・・かつては牛の放牧地帯だったが、現在は濃厚飼料で一気に肥育する フィードロット が発展



②

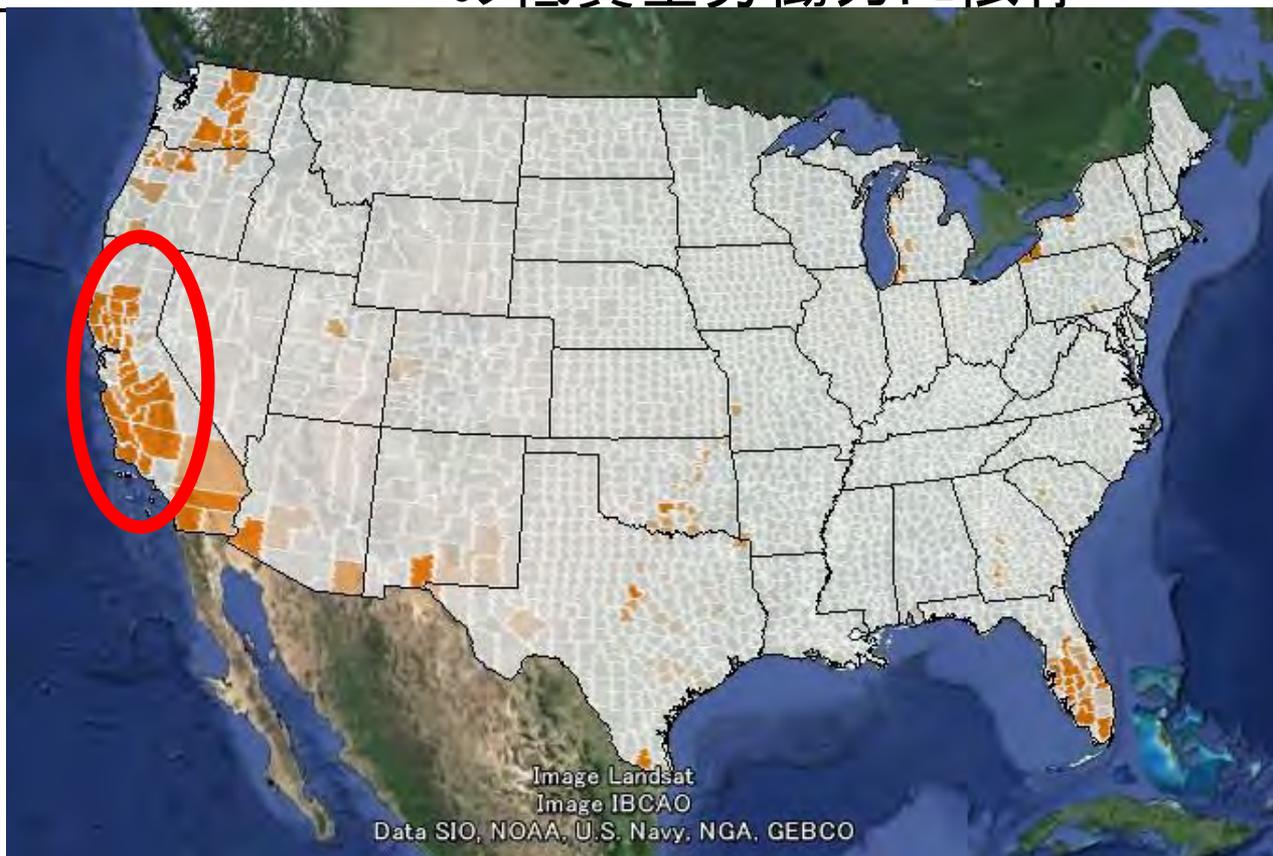
地中海式農業 地帯

中心 ……地中海性気候の カリフォルニア 州インピリアルバレー

特色

- ・ ぶどう・オレンジ・レモン などの果実と野菜の生産、近年は米・綿花の栽培も増加

- ・ ヒスパニック の低賃金労働力に依存



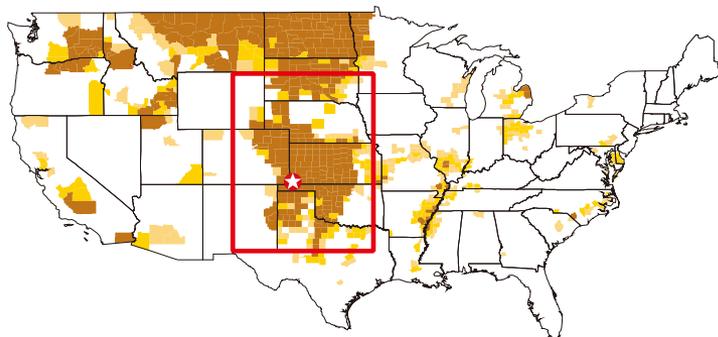
セントラルバレー



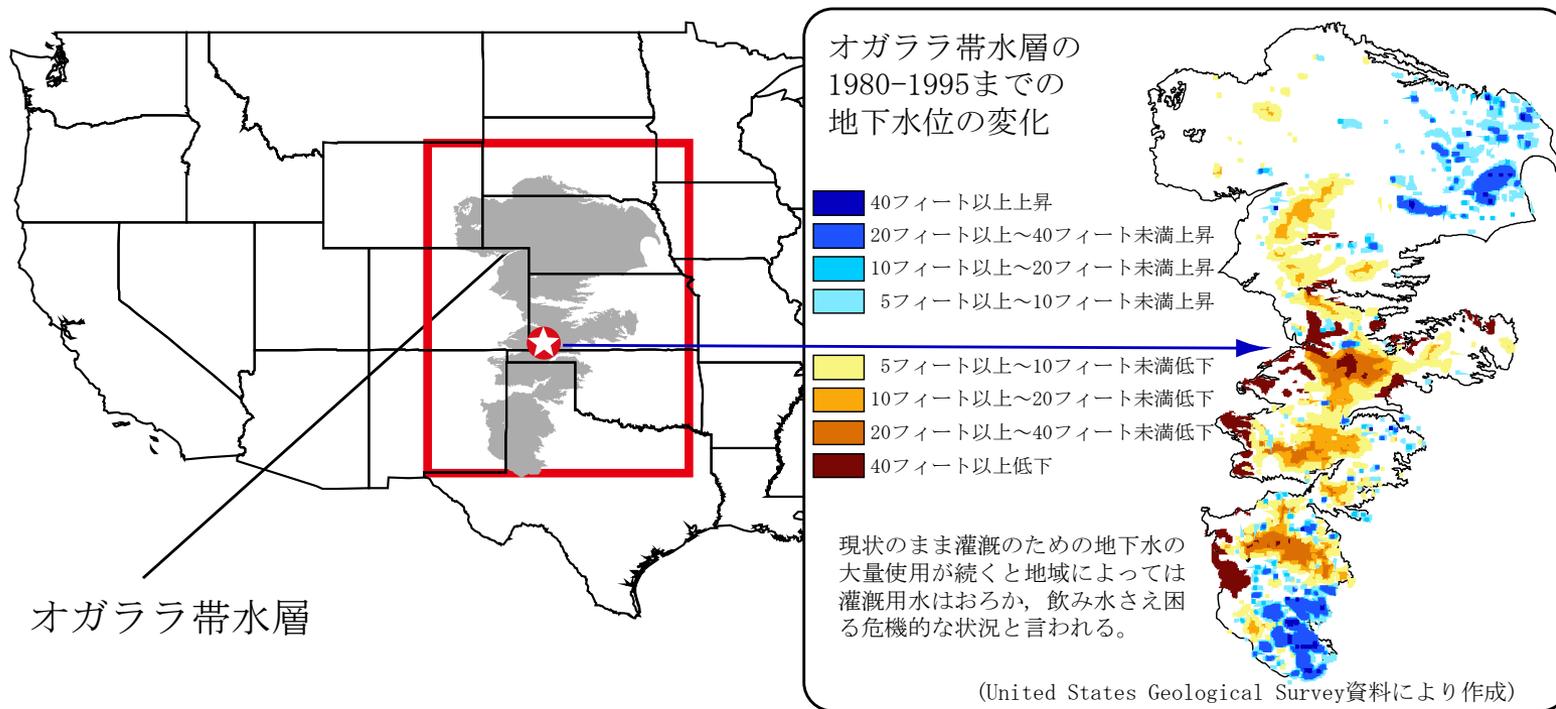
サンフランシスコ



3)アメリカ農業の問題点(冬小麦地帯の付近)



・地力の低下による 地下水枯渇 など



4) 州別農業の特色

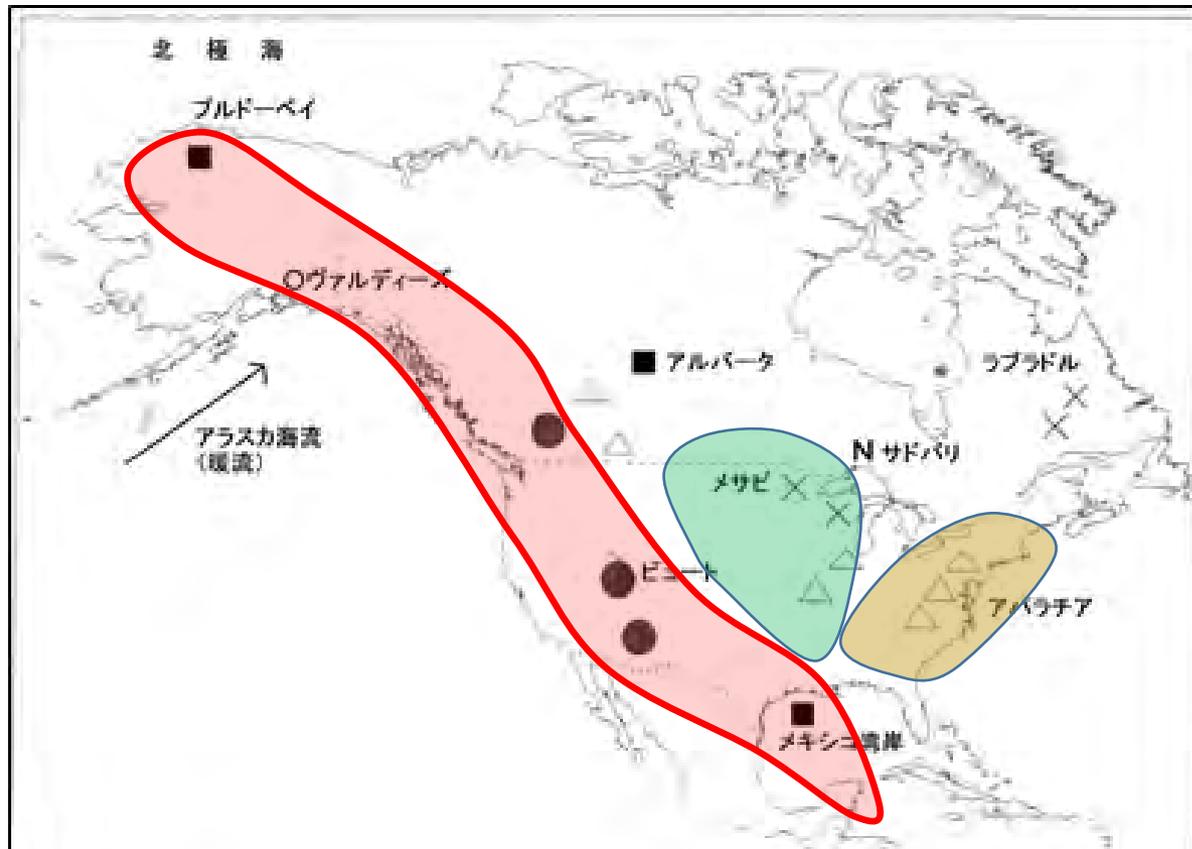


(8) アメリカの資源とその分布

油田(■)や銅山(●)は【 新期造山帯 】の付近に多く分布

炭田(△)は【 古期造山帯 】の付近に多く分布

鉄山(×)は【 安定陸塊 】の楯状地の付近に多く分布



大地形と資源産地との関係は絶対ではないので、あくまでも傾向

(9) 工業

- 1) 第二次世界大戦で甚大な被害を受けた イギリス にかわって「世界の工場」として躍進
- 2) 北東部の古くからの工業地域
…… 北緯37度以北の寒冷な フロストベルト (スノーベルト)



①フロストベルトの中心 ボストン : マサチューセッツ州

・・・当初は、[綿工業] (南部農村地帯の[綿花] 使用)

北西部ローウェルの産業博物館



➡ 現在、ボストンではエレクトロニクス産業が盛ん

※高速道路沿いに先端産業が発展・・・エレクトロニックハイウェー
(マサチューセッツ工科大の優秀な頭脳を活用)

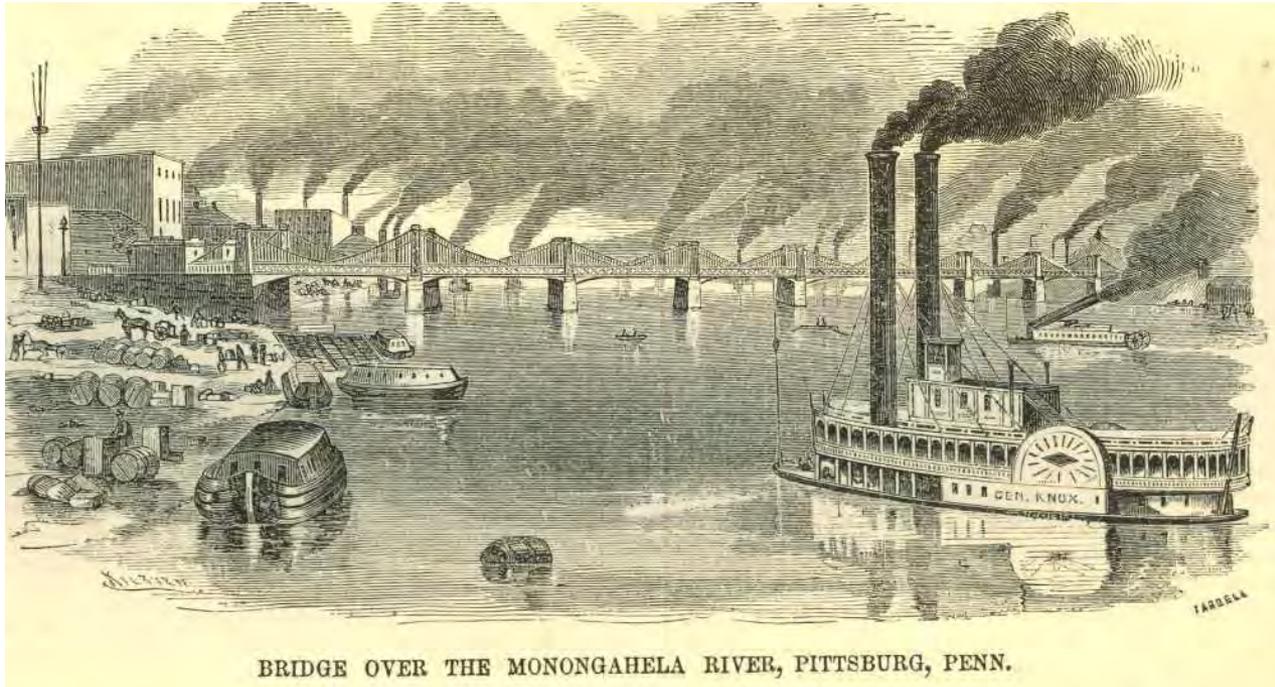


②その他の工業都市

■ニューヨークからボルティモア…造船・鉄鋼・自動車産業

■五大湖沿岸…鉄鋼業（水運で **メサビ** 鉄山と**アパラチア** 炭田を結合）

中心都市…[**ピッツバーグ**]



➡ ピッツバーグは鉄鋼不況で没落したのち現在では、
先端技術産業で再生をはかっている



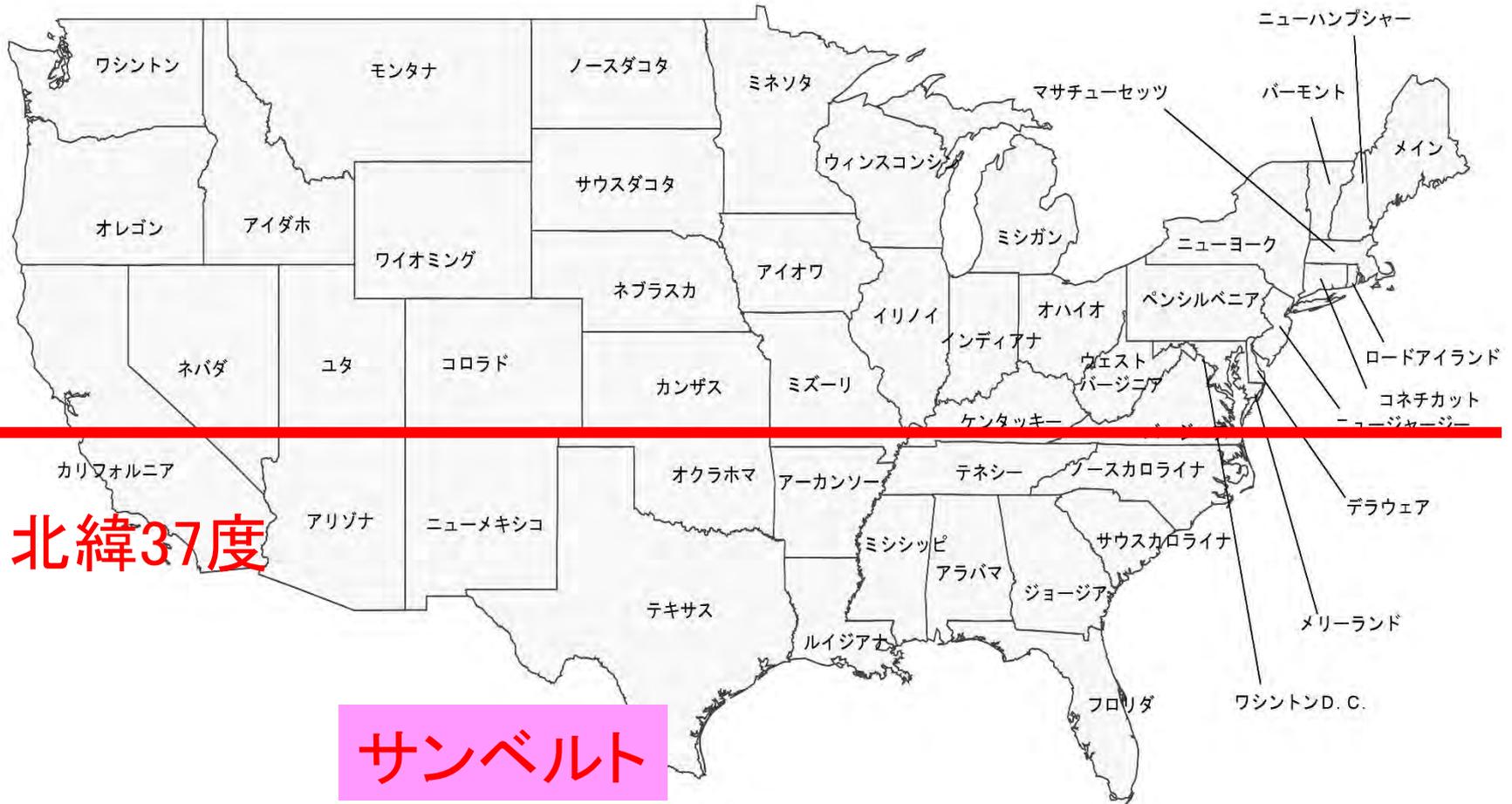
ピッツバーグを襲った鉄鋼不況の背景

※[メサビ]鉄山の鉄鉱石の品質低下と製鉄所の老朽化により国際競争力が低下により、[カナダ]やベネズエラより輸入鉄鉱が増加。さらにそれを利用した臨海立地の製鉄所がフィラデルフィアや[ボルチモア]に立地。



3) 近年発展している工業地域

・・・北緯37度以南の温暖な **サンベルト** 。



①歴史・・・1970年代以降、スノーベルトの衰退にともない発展

■スノーベルトの衰退

- ・設備の老朽化
- ・労働組合の加入率の高さからくる高賃金
- ・鉄鉱石など資源の枯渇
- ・新興国の台頭

■サンベルトの発展

- ・低賃金の未組織労働力
- ・安価で広い工業用地
- ・石油などの資源の豊富さ
- ・軍事・宇宙開発基地の立地からくる先端産業の集積

②工業地域の中心

■ シリコンバレー

・・・サンフランシスコ近郊サンノゼの先端技術産業地域

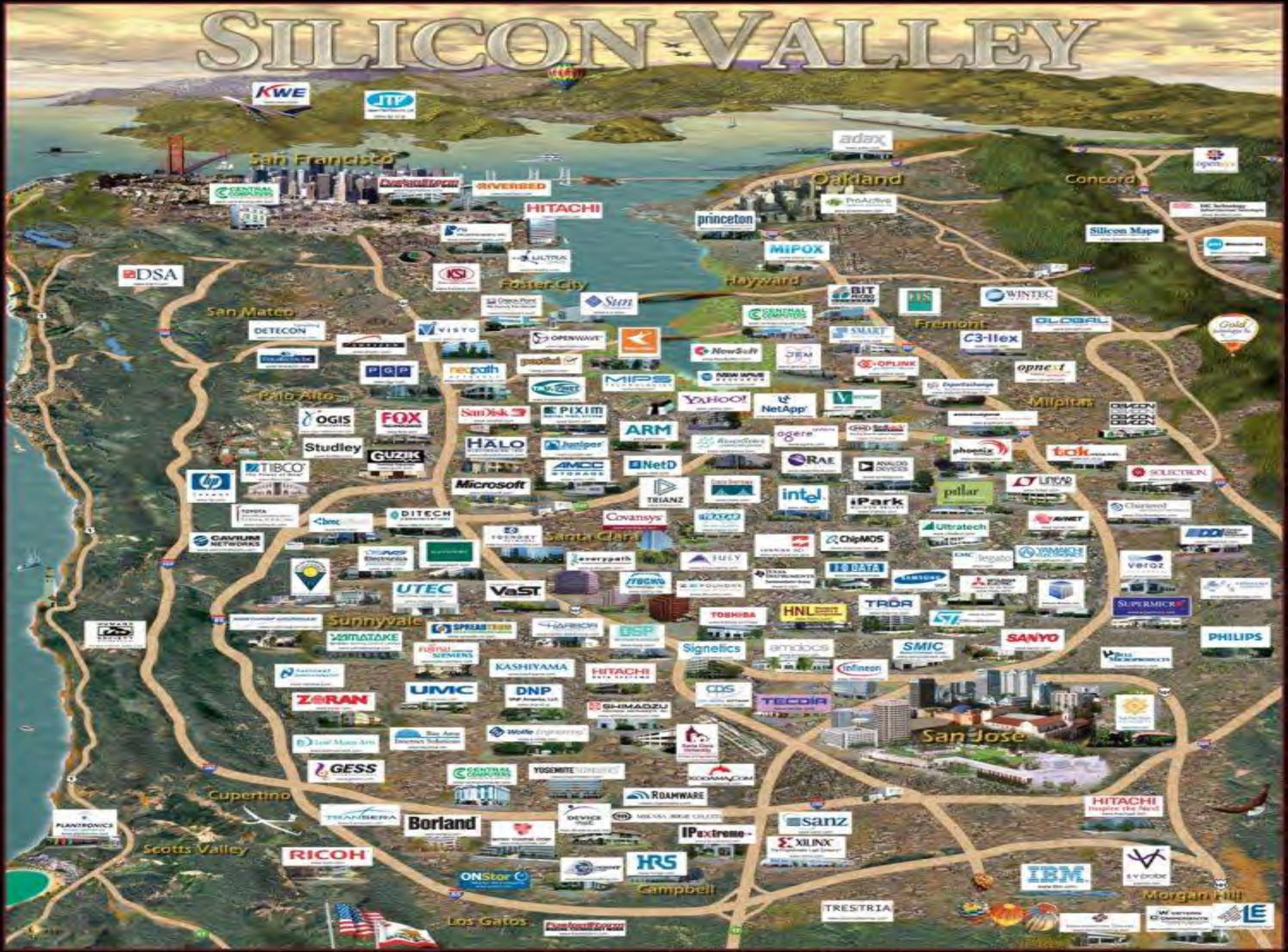
➡ 名門大学(スタンフォード大学)の人材・広い工業用地・
政府の研究開発予算による

■ ダラス・アトランタ周辺(エレクトロニクス・航空宇宙産業)





SILICON VALLEY



KWE

ITV

adax

San Francisco

Oakland

Concord

CONTRAST

Carto

REVIEWS

HITACHI

princeton

YOACTIVE

Silicon Maps

DSA

KS

ULTRIX

MIFOX

San Mateo

Foster City

Hayward

Fremont

GLOBAL

DETECON

VISTO

OPENWARE

BIT

WINTEC

Gold

Palo Alto

reCAPTCHA

goad

NewSoft

SMART

C3-ilex

OGIS

FOX

SanDisk

PIXIM

ARM

YAHOO!

NetApp

Milpitas

QIMON

Studley

GUZIK

HALO

haniper

NetD

ogere

RAE

tok

SOLECTION

hp

TIBCO

Microsoft

NetD

CAVIRUM NETWORKS

DITECH

E2

TECHNOLOGY

UTEC

VaST

TECHNOLOGY

Sunnyvale

SPRINT

San Jose

TECHNOLOGY

Cupertino

TECHNOLOGY

Scotts Valley

TECHNOLOGY

Los Gatos

TECHNOLOGY

Campbell

TECHNOLOGY

Morgan Hill

TECHNOLOGY

Los Gatos

TECHNOLOGY

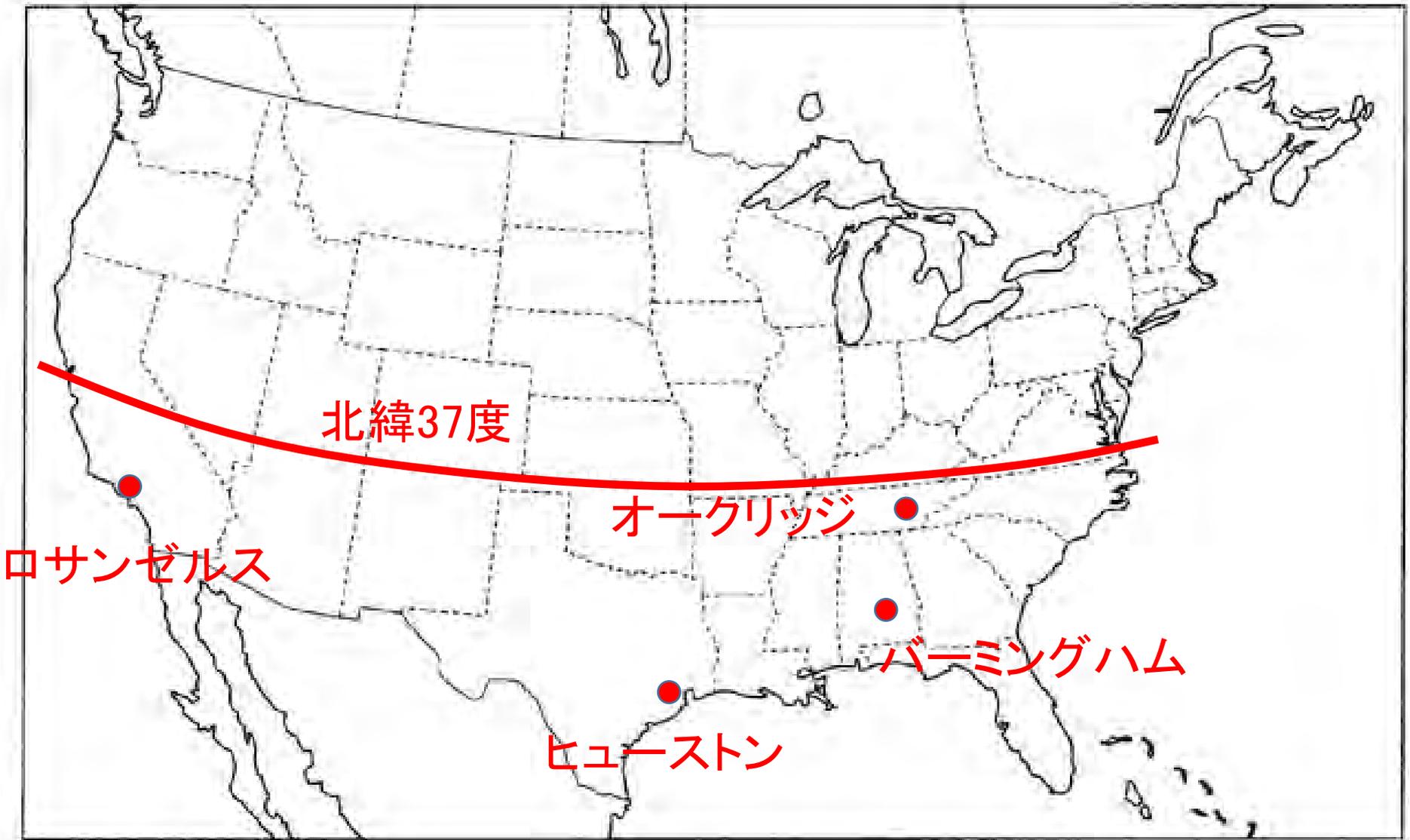
Los Gatos

TECHNOLOGY

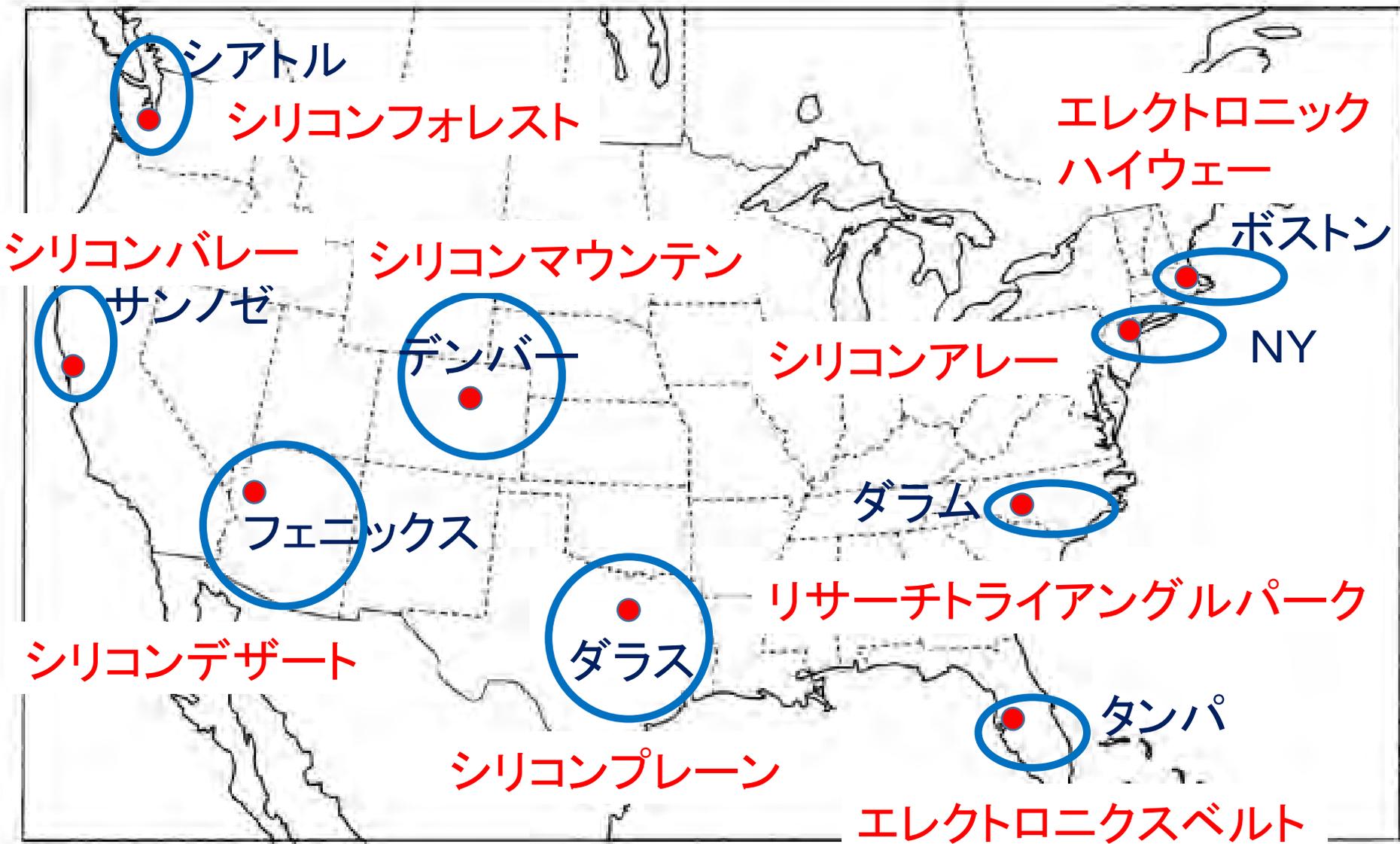
Los Gatos

TECHNOLOGY

③サンベルトのその他の主な工業都市



4)国内の先端技術産業集積地



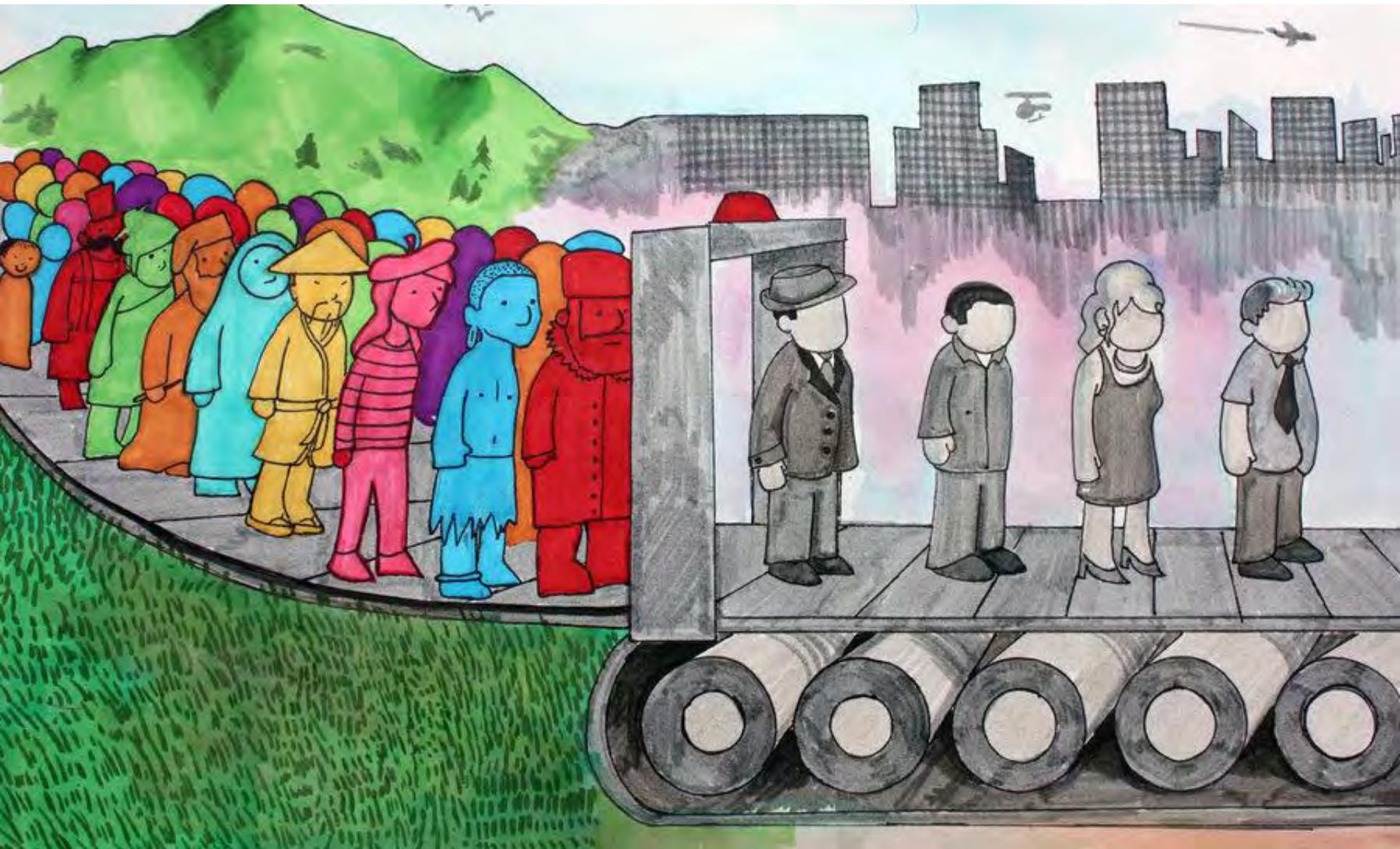
(10) 国際社会に影響を与えるアメリカ合衆国

①アメリカで生まれ、世界中に普及したものは？

■生活面：世界中で「【**アメリカニゼーション**】」が進行（食文化、
娯楽など生活全般） **（アメリカナイズ）**

→アメリカ合衆国による文化侵略の懸念





■通貨:【 **ドル** 】…世界の基軸通貨



■アメリカの情報技術規格…世界標準となることも多い。

アメリカンスタンダード



■政治・軍事面…発言権大きい



カナダ

3 カナダの概観

(1)面積・・・997.1万平方km(世界第2位)

(2)人口・・・約3759万人、人口密度は3.71人／km²(2018年)

(3)広がり・・・アメリカとの数理的国境線

西経[141]度、北緯[49]度

人口の6割が東部に集中

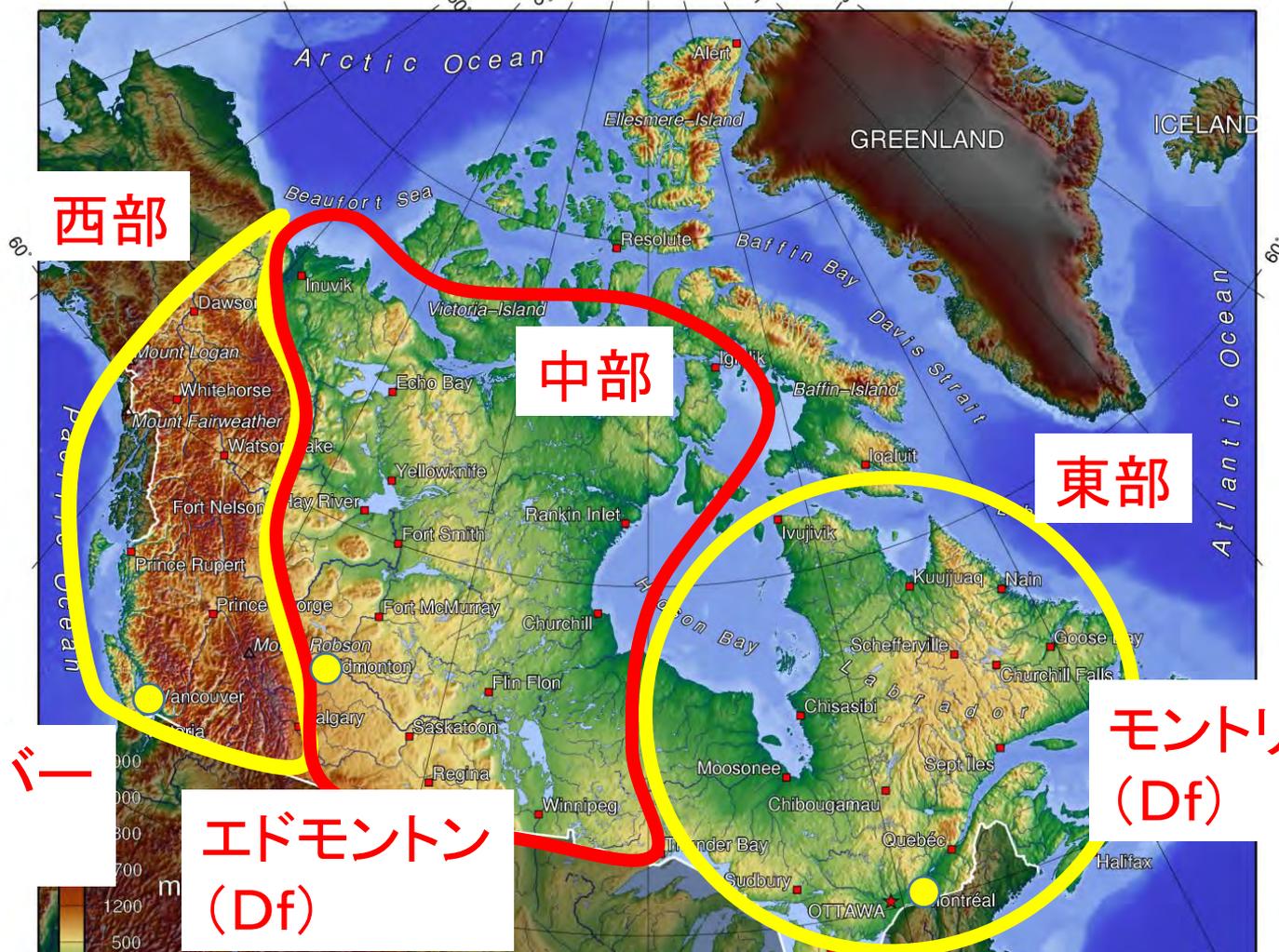


(4) 地形と気候の概観

① 東部: 世界最古の[**カナダ**]楕状地

② 中部: プレーリーの大平原、[**氷河湖**]が多い

③ 西部: 新期造山帯の**カナディアンロッキー**、氷食地形や**フィヨルド**



西部

中部

東部

バンクーバー
(Cfb)

エドモントン
(Df)

モントリオール
(Df)

(5) 民族構成・・・イギリス系とフランス系が比較的多い

①イギリス系住民 25% 州都
・・・[オンタリオ]州に多い。中心都市[トロント]

②フランス系住民 11%
・・・[ケベック]州に多い(分離独立運動根強い)。
中心都市[モントリオール] 北米のパリ



③イギリス系とフランス系の両方への政策的配慮

- 首都は州境(フランス系とイギリス系の境)の中間点[**オタワ**]
- 公用語は[**英**]語と[**フランス**]語(1969年より)

④ネイティブアメリカン・・・約4%

- * イヌイットが総人口の大半を占める地区が
[**ヌナブト**](我々の土地の意)準州となる(1999年より)



(5)アジア系住民・・・太平洋岸

(6) 産業

① 農業・・・平原3州で春小麦生産(耐寒品種のガーネット種)

※マニトバ・サスカチュワン・アルバータ

集散地 [ウィニペグ]

積出港 [バンクーバー]



②水産業

- 東岸・・・ニューファンドランド島近海が潮目やバンクに恵まれる。
フランス漁民が開拓した北西大西洋漁場
- 西岸・・・さけ・ます・かになどの大漁場、河川漁業



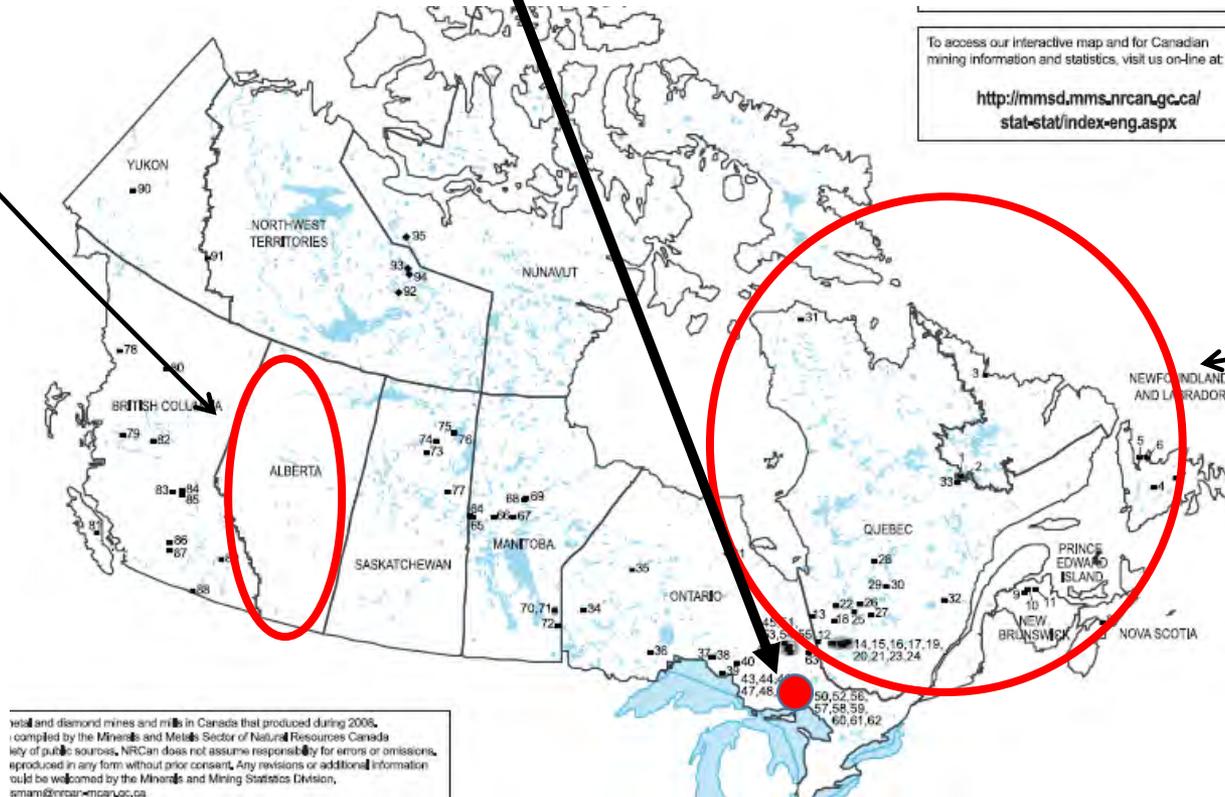
③ 林業・・・パルプ・製紙工業の発達



ブリティッシュコロンビア州

④ 鉍工業・・・地下資源が豊富

- [ラブラドル] 半島の鉄鉍石 世界第3位の埋蔵量
- [アルバータ] 州の石油・天然ガス・タールサンド
- ニッケル→[サドバリー] 鉍山
- 製紙工業や水力発電を利用した[アルミニウム] 精錬が盛ん



⑤交通

①大陸横断鉄道が2本→結節点[**ウイニペグ**]



②セントローレンス川と五大湖を結合させた セントローレンス海路 を利用(1959年完成)

